

## 平成20年度第1回高知県公立学校教員採用勉強会の概要

### 1 説明会開催の目的

教員を志望する人に、高知県の求める教師像や教育施策などの情報を提供し、高知県の教育への関心や理解を深め、やりがいを持って、高知県の公立学校教員を目指す人を増やすことを目的とする。

### 2 勉強会参加者数

月 日	会 場	参加者数	アンケート回収数
12月18日(金) 18:00-20:00	四万十市中央公民館	87名	79名
12月19日(土) 19:00-21:00	教育センター本館	129名	113名
12月20日(日) 10:00-12:00	教育センター本館	125名	116名
	合 計	341名	308名

- ① アンケートの回答者308名の内訳は、大学生20名、教職関係者271名、民間企業等その他の者が14名であった。また、平成22年度の選考審査を受審する予定の者は298名であった。
- ② 説明会開催アンケートの回答からは、今回の説明会の開催の主旨は参加者に伝わったと考えられる。

### 3 感想より

- ① 各教科に筆記審査結果の分布表があり、正解率の高かった問題や低かった問題などがわかり参考となる。
- ② 各教科の得点分析や正解率等の情報は欲しかった情報である。
- ③ 求める教師像、高知県の現状等などが再確認できて、とても勉強になった。
- ④ どのような教員が求められているのか、以前より具体的に見えてきた。
- ⑤ 教員に求められる能力は、どういったものなのか等、詳しい事を知ることができた。生徒と同じ目線を持ち、常に前向きな姿勢で取り組むことについて考えることができた。
- ⑥ 面接、集団討論の評価の仕方について、細かく知ることができた。
- ⑦ 試験を受けたらそれで終わりでは、次につながらない。今の自分がどの位置にいて、どれくらいの力を持っているかを知ること、次の勉強に生かせるので、今回の細かい資料を参考に、どんな力をつけるのか考えていきたい。参加してよかった。
- ⑧ 自分と同じようにがんばっている講師の人たちと同じ空間で、一緒に勉強できる機会となり、刺激と励みになった。
- ⑨ 今後も勉強会を開催していただきたい。

#### [会場での質問から]

Q： 集団討論の得点配分について、司会と司会以外では得点配分に差があるのか。

A： 司会、司会以外で得点配分に差はない。それぞれの立場で、発揮された能力などを、評定項目に沿って見ている。

Q： 模擬授業について、経験者と未経験者で評価に差があるか。

A： 経験者、未経験者ということでの評価には、差はない。経験者は培った経験を生かし、未経験者は今までの自分の経験や教育実習での経験を生かして授業を行っていると考えており、授業そのもので評価している。

### 4 その他

- (1) 説明会で使用した資料についてはホームページ上に掲載します。

アドレス：<http://www.kochinet.ed.jp/seisaku/>

- (2) 勉強会に関する問い合わせ先は、次の通りです。

高知県教育委員会事務局教育政策課 人事企画担当  
TEL 088-821-456

平成20年度

高知県公立学校教員採用勉強会  
第1回

平成21年度採用候補者選考審査結果について



平成20年12月18日(木) 18:00~20:00  
四万十市立中央公民館

平成20年12月19日(金) 19:00~21:00  
高知県教育センター本館

平成20年12月20日(土) 10:00~12:00  
高知県教育センター本館

高知県教育委員会事務局  
教育政策課

## も く じ

高知県の求める教師像	.....	1
「学ぶ力を育み 心に寄りそう 緊急プラン」より	.....	2
平成21年度採用候補者選考審査及び採用説明会、勉強会に係る日程等	.....	7
平成21年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査結果一覧	.....	8
教員採用審査受審者数・名簿登載者数・倍率推移（平成18年度～21年度）	.....	9
定年退職者数の推移（平成20年度末～平成30年度末）	.....	9
平成21年度 第1次審査筆記審査（教職・一般教養、専門教養）の平均点	.....	10
平成21年度 高知県公立学校教員採用候補者選考審査第1次審査筆記審査の概況	.....	11
1 教職・一般教養	.....	11
2 小学校全科	.....	13
3 国語（中学校）	.....	15
4 国語（高等学校）	.....	16
5 社会（中学校）	.....	17
6 地理歴史（高等学校）	.....	19
7 公民（高等学校）	.....	22
8 数学（中学校・高等学校）	.....	24
9 理科（中学校）	.....	25
10 理科（高等学校）	.....	27
11 音楽（中学校）	.....	30
12 音楽（高等学校）	.....	31
13 美術（中学校・高等学校）	.....	32
14 書道（高等学校）	.....	33
15 保健体育（中学校・高等学校）	.....	34
16 技術（中学校）	.....	37
17 家庭（中学校・高等学校）	.....	38
18 英語（中学校・高等学校）	.....	40
19 工業（機械）（高等学校）	.....	41
20 工業（建築）（高等学校）	.....	43
21 商業（高等学校）	.....	45
22 養護教諭（小学校・中学校）	.....	46
23 栄養教諭（小学校・中学校）	.....	47
平成21年度 第1次審査集団討論について	.....	48
平成21年度 第1次審査個別面接審査について	.....	49
平成21年度 第1次審査個別面接審査の概況	.....	50
平成21年度 第2次審査作文審査について	.....	51
平成21年度 第2次審査面接審査の評定について	.....	52
平成21年度 第2次審査面接審査模擬授業について	.....	53
平成21年度 第2次審査面接審査口頭試問について	.....	54
平成21年度 第2次審査個別面接審査の概況	.....	55
高知県の教員を目指される方へのアドバイス	.....	59

# 高知県の求める教師像

高知県はこんな先生を求めています。

これからの学校は、子どもたちがよく学びよく遊び、心身ともに健やかに育つことを目指し、高い資質能力を備えた教員が自信を持って指導に当たり、そして保護者や地域も加わって、学校が生き生きと活気ある活動を展開することが求められています。

こうした学校づくりを進めていくためには、子どもたちの教育に直接携わる教員の資質能力の向上を図ることが大切です。

そして、変化の激しい時代の中で、子どもたちや保護者の価値観は多様化し、刻々と変化している状況の中でも、子どもたちを本当に好きで、慈しみ育てたいという情熱のある、次のような人を求めています。

## 1 教師の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感などのある人

子どもたちへの優しさや愛情は、教員の資質の中でも最も大切なものの一つです。子どもたちの確かな成長を願い教育への熱い情熱と責任感のある人を求めます。

## 2 教育の専門家として、教科指導力、子ども理解力、児童・生徒指導力、集団指導の力、学級づくりの力などのある人

様々な子どもたちを受け止め、子どもたちに寄り添い、温かく励まし見守りながら、共に成長していくことができる人、研究と創意工夫を惜しまず、楽しくわかりやすい授業を創造し、温かい学級づくりのできる人を求めます。

## 3 豊かな人間性や社会性、常識と教養、対人関係能力などを備え、組織の一員としての自覚を持った人

個性と創造力を発揮し、他の教職員と連携・協力しながら、学校組織の一員として教育活動にあたることのできる人を求めます。

# 「学ぶ力を育み 心に寄り添う 緊急プラン」より

## 1 学校における取組

### (1) 学力向上対策

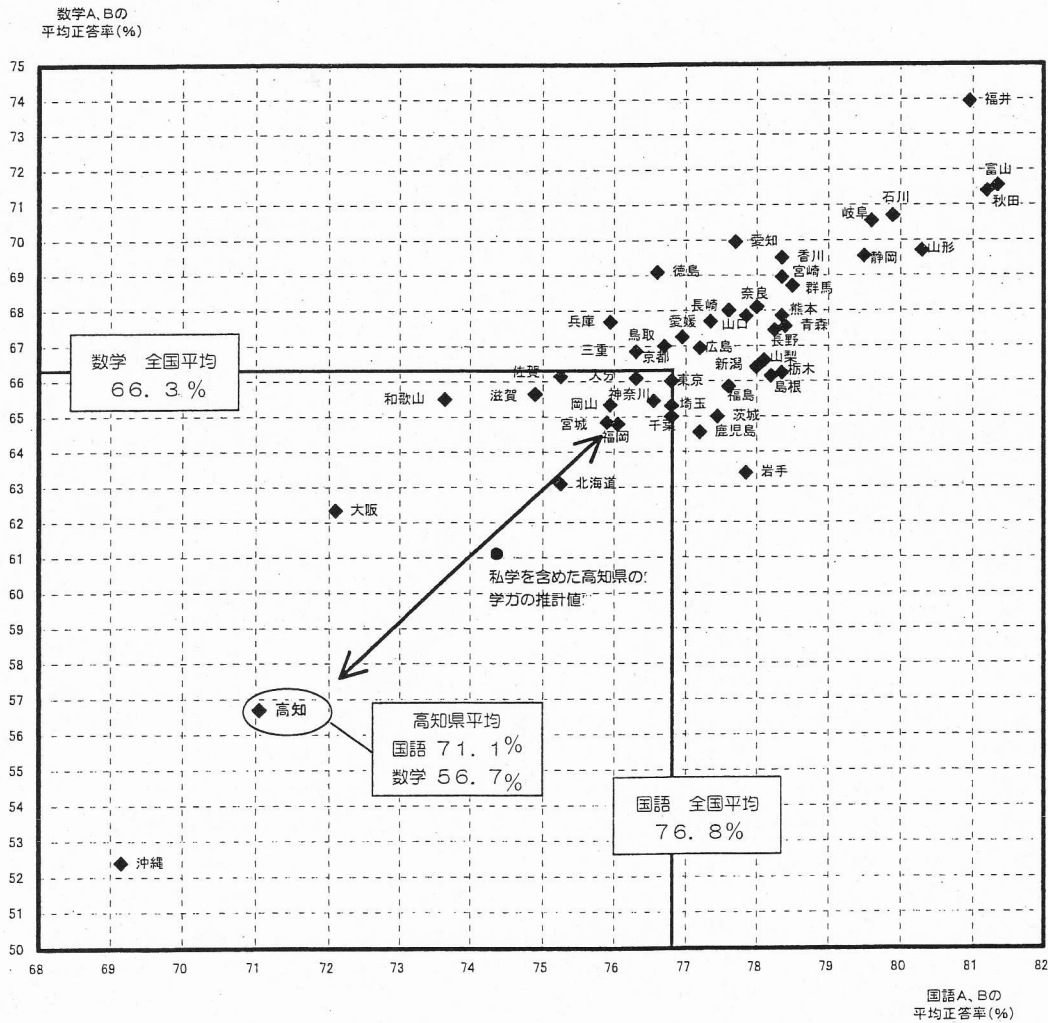
#### ① 児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上

ア 平成19年度全国学力・学習状況調査において、小学校はほぼ全国平均並みであったが、中学校では全国平均を大きく下回る結果となった。

#### ◆全国学力・学習状況調査の正答率

		学校数	国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	高知県	243校	81.7%	60.0%	81.6%	60.7%
	全国	22,072校	81.7%	62.0%	82.1%	63.6%
中学校	高知県	115校	78.1%	64.0%	62.8%	50.6%
	全国	10,544校	81.6%	72.0%	71.9%	60.6%

#### ◆中学校 国語と数学の相関図



※全国学力・学習状況調査結果より  
(国・私立学校は除く。以下同じ)



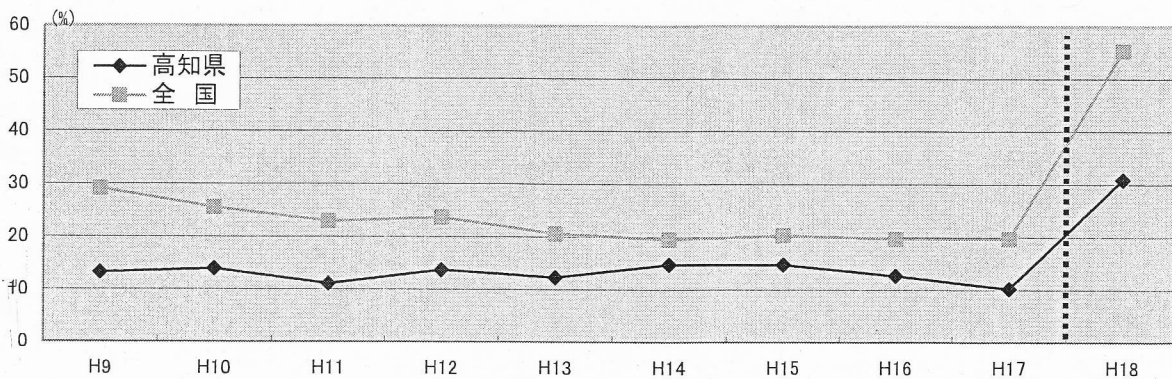
# 1 学校における取組

## (2) いじめ・不登校等対策（心の教育）

ア いじめの学校認知率は全国平均を下回っているが、いじめは潜在化しておきるものであることの認識をさらに深める必要がある。

イ 平成18年度の暴力行為の発生率は全国ワースト1位（3年連続）、不登校の発生率はワースト2位である。

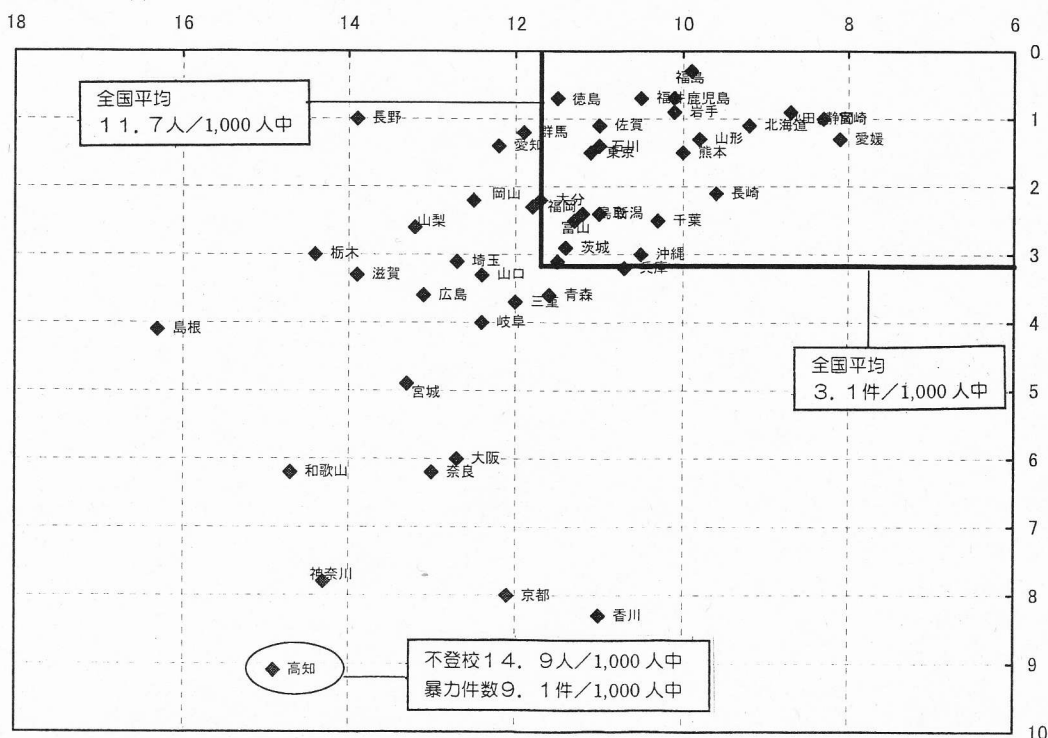
### ◆いじめを認知した学校の割合（公立）



※18年度にいじめの定義が変更され、これまでいじめとされていなかった児童生徒間に起こる事象がいじめと認知されるようになり、数値が前年度より増加

### ◆平成18年度 不登校出現率及び暴力行為発生率

1000人当たりの  
不登校児童生徒数  
(国公立 小・中)



1000人当たりの  
暴力行為発生件数  
(国公立 小・中・高)

ウ いじめ、不登校、暴力行為などに対応するための校内体制が未整備であったり、組織的な取組に温度差が見られる。

エ 教職員が児童生徒の心の状態をきめ細かく把握できるような調査や分析をさらに検討する必要がある。

オ 専門的な資格を持つ臨床心理士の配置など、児童生徒の深刻なケースや突発的な問題にも緊急に対応できる体制の整備が十分ではない。

◆公立学校におけるいじめ問題への対応状況（17年度）

（単位：％）

		職員会議等での共通理解	全校実態調査	相談体制整備	学校全体での指導	家庭・地域協力	学校通信等での家庭との協力	養護教諭が指導	SC・心の教室相談員	その他
小学校	高知県	78.8	21.5	27.6	58.7	19.6	26.6	15.4	14.1	2.2
	全国	75.7	35.2	52.4	57.0	26.1	29.1	22.3	14.1	4.2
中学校	高知県	83.5	36.8	33.1	63.2	21.1	22.6	21.8	20.3	6.0
	全国	84.7	46.1	67.4	64.2	32.8	33.5	34.0	45.3	7.5
高等学校	高知県	85.7	14.3	40.5	54.8	19.0	14.3	28.6	35.7	19.0
	全国	68.6	24.7	44.6	46.7	14.0	15.2	27.0	21.9	14.7

・複数回答あり

全国と比べ小・中学校ともに相談体制の整備が課題

◆心の教育センターにおける教育相談件数等

（単位：件）

年度	16年度	17年度	18年度	19年度
来所相談	577	573	791	933
電話相談	1,439	1,291	1,229	1,192
Eメール相談	472	476	463	445



# 学ぶ力を育み 心に寄りそう 緊急プラン【概要】

～ 「学力向上・いじめ問題等対策計画」 ～

## 本県の教育の現状と課題

- 平成19年度 全国学力・学習状況調査の結果
  - ・ 中学校の国語・数学とも全国平均を大きく下回り全国46位
  - ・ 宿題や予習をしている割合が全国より少なく、家庭での学習が十分に定着していない
- 平成18年度の暴力行為の発生率は全国ワースト1位（3年連続）、不登校の出現率はワースト2位

## 計画期間及び目標

☆計画期間

平成20年度～23年度(4年間)

☆目標

- 「基礎学力の全国最下位レベルからの脱却」に向けて  
子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくための学力をしっかりと身に付ける  
⇒ 学力をまずは全国水準にまで引き上げる
- 「児童生徒が落ち着いて安心して学べる環境づくり」に向けて  
いじめや不登校などで悩んでいる子どもたちの心に寄りそう  
⇒ 生徒指導上の諸問題の発生率をまずは全国水準にまで改善する

## 今後の方向性と具体的な方策

高知の子どもの未来のために さあ進めよう！「5つの改革」

(主な取組)

### 学校・学級改革

- 全ての小中学校での学力の底上げ
  - ・ 各校での学力向上対策(学校改善プラン)の着実な実施
  - ・ 学習内容のまとめ(単元)ごとのテストの実施(算数・数学)
- 課題を有する学校への個別の集中的・重点的な支援
  - ・ 学力向上のための校内体制の整備
  - 〔 学力向上専従担当教員の配置  
教員OBの派遣による授業指導 等 〕

### 教員指導力改革

- 学校でのOJTの推進
  - ・ 日々教員を指導できる管理職やミドルリーダーの育成
- 新規採用教員の質の向上
  - ・ 県外(都市部)での採用説明会の実施 等

### 幼児教育改革

- より質の高い保育・教育の推進
  - ・ 保育者の資質・専門性を高める研修の強化 等
- 「親育ち支援」の強化
  - ・ 子どもの育ちの道筋と大人のかかわり方の周知(出前講座等)
- 認定こども園の設置促進
  - ・ 保育所と幼稚園の両機能をもつ認定こども園への財政支援

### 心の教育改革

- 初期対応の強化・関係機関との連携強化
  - ・ 児童虐待・いじめ対応ガイドラインの作成(教職員用)
- 教職員のカウンセリングマインドの向上
  - ・ 児童生徒の心の状態をつかむ調査の普及・定着
- 心の教育センター教育相談体制の強化

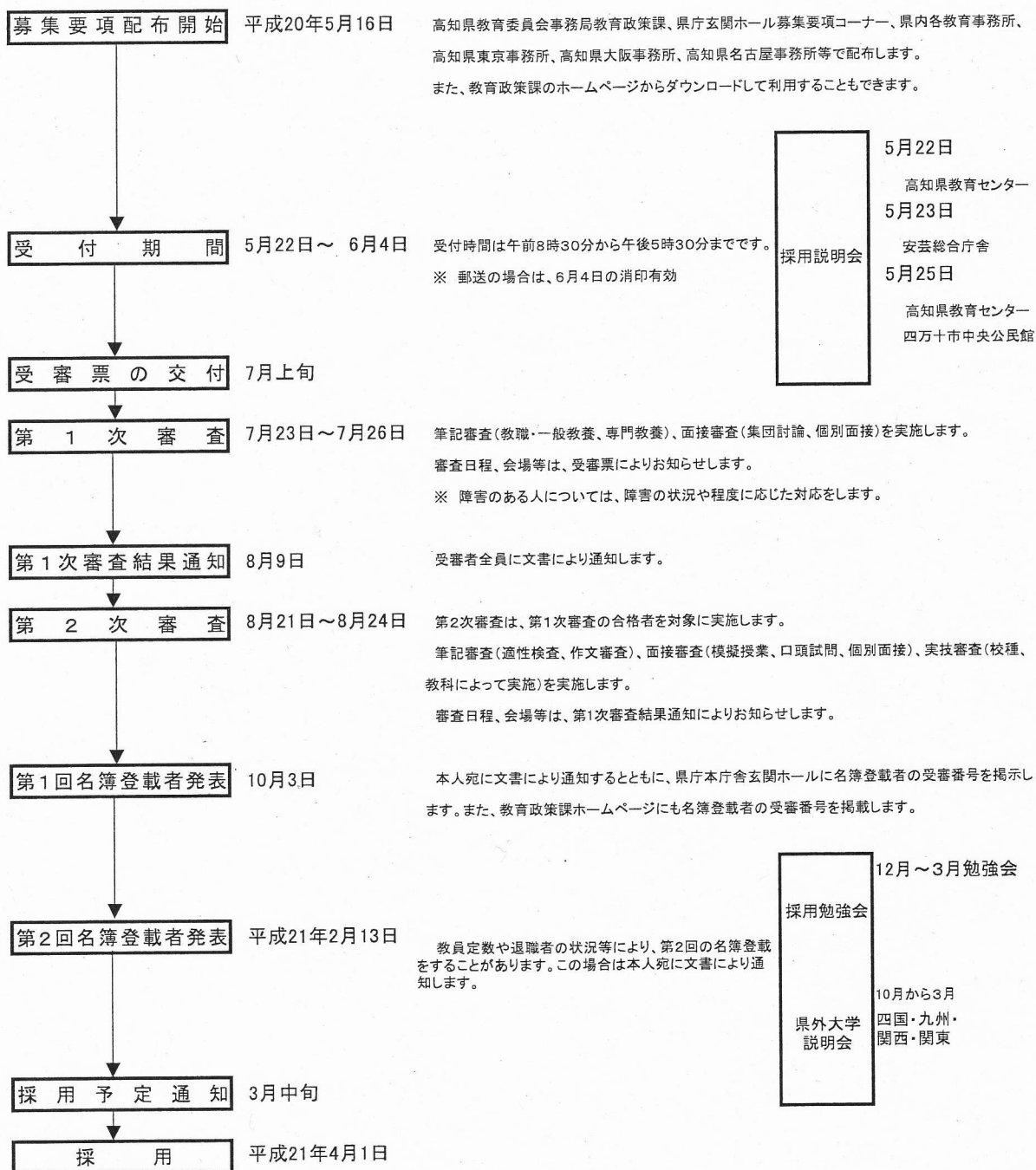
### 放課後改革

- 全ての小学校で放課後の「学びの場」の提供
- 中学校の重点校での「学びの場」の設置
  - ・ 予習や復習の点検を行う指導員の配置(学校支援地域本部)
  - ・ 家庭学習の点検等を行う中学校非常勤講師の配置
- 生活チェックカードによる生活習慣や家庭学習の点検

## 推進体制・進行管理

- 県プロジェクトチームの設置と市町村教育委員会等との連携・協力
- 教育委員会評価及び学校評価を通じた進行管理
- 教育版「対話と実行」座談会等を通じた県民の意見等の収集と反映
- 実施状況に応じた不断の検証・改革

## 平成21年度採用候補者選考審査及び採用説明会、勉強会に係る日程等



平成21年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査結果一覧

平成20年10月3日現在

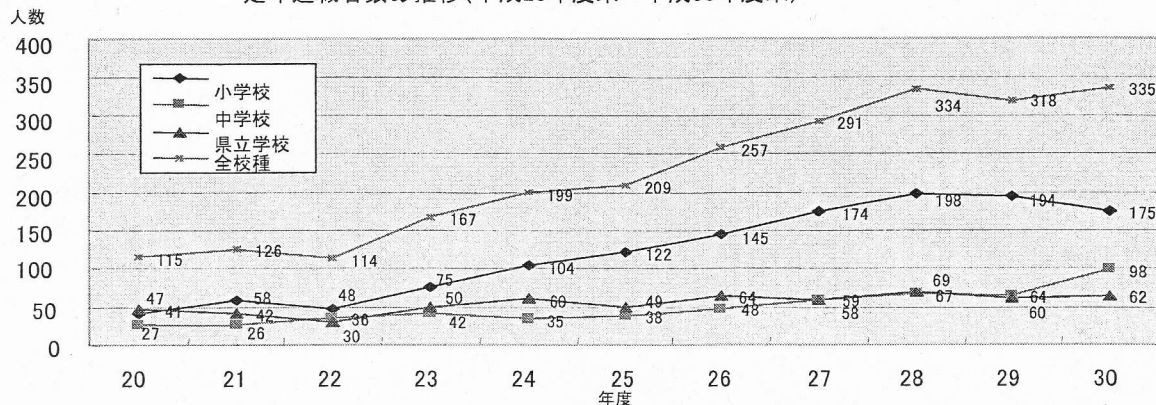
学校種別	教科	応募者数	1次審査 受審者数	1次審査 合格者数	2次審査 欠席者数	2次審査 受審者数	第1回 名簿登載者	第2回 名簿登載者	登載者合計	
小学校		296	283	76	2	74	24		24	
中学校	国語	54	50	20	1	19	8		8	
	社会	78	70	15	0	15	5		5	
	数学	50	46	20	0	20	10		10	
	理科	40	34	15	2	13	8		8	
	音楽	30	29	10	0	10	3		3	
	美術	10	10	4	0	4	1		1	
	保健体育	49	46	10	0	10	2		2	
	技術	12	9	5	0	5	2		2	
	家庭	7	6	3	0	3	0		0	
	英語	72	71	20	0	20	10		10	
	小計	402	371	122	3	119	49		49	
小・中学校養護教諭		81	71	20	0	20	10		10	
小・中学校栄養教諭		26	19	10	0	10	5		5	
小・中学校合計		805	744	228	5	223	88		88	
高等学校	国語	36	35	10	0	10	2		2	
	地歴	33	30	5	0	5	1		1	
	公民	31	26	5	0	5	1		1	
	数学	35	30	5	0	5	1		1	
	理科	48	41	10	0	10	1		1	
	保健体育	65	63	9	0	9	2		2	
	音楽	13	11	3	0	3	1		1	
	美術	19	19	6	0	6	1		1	
	書道	18	18	5	0	5	1		1	
	英語	54	48	11	0	11	3		3	
	家庭	20	20	7	0	7	1		1	
	水産	募集なし								
	農業	募集なし								
	工業(電気・電子)	募集なし								
	工業(機械)	12	10	4	0	4	2		2	
	工業(建築)	11	7	4	0	4	1		1	
	工業(インテリア)	募集なし								
	工業(土木)	募集なし								
	商業	31	29	8	0	8	1		1	
	看護	募集なし								
福祉	募集なし									
小計	426	387	92	0	92	19		19		
特別支援学校	小学部	17	15	6	0	6	3		3	
	中・高等部	47	43	13	0	13	3		3	
	理療	1	1	1	0	1	1		1	
	小計	65	59	20	0	20	7		7	
県立学校養護教諭		募集なし								
県立学校合計		491	446	112	0	112	26		26	
小・中・特別支援学校栄養教諭		募集なし								
小・中・県立学校総計		1296	1190	340	5	335	114		114	

教員採用審査受審者数・名簿登載者数・倍率推移(平成18年度～21年度)

校種・教科等	年度	18年度			19年度			20年度			21年度		
		受審者数	名簿登載者	倍率	受審者数	名簿登載者	倍率	受審者数	名簿登載者	倍率	受審者数	名簿登載者	倍率
小学校		324	12	27.0	321	17	18.9	293	28	10.5	283	24	11.8
中学校	国語	50	1	50.0	51	2	25.5	43	3	14.3	50	8	6.3
	社会	82	1	82.0	74	2	37.0	90	2	45.0	70	5	14.0
	数学	34	1	34.0	47	1	47.0	46	4	11.5	46	10	4.6
	理科	22	1	22.0	31	2	15.5	24	4	6.0	34	8	4.3
	音楽	43	1	43.0	募集なし	—	—	44	2	22.0	29	3	9.7
	美術	29	1	29.0	募集なし	—	—	21	1	21.0	10	1	10.0
	保体	44	1	44.0	44	2	22.0	56	3	18.7	46	2	23.0
	技術	11	0	—	募集なし	—	—	12	1	12.0	9	2	4.5
	家庭	35	1	35.0	募集なし	—	—	22	2	11.0	6	0	—
	英語	71	1	71.0	71	2	35.5	73	5	14.6	71	10	7.1
小計	421	9	46.8	318	11	28.9	431	27	16.0	371	49	7.6	
小・中学校	養護教諭	76	4	19.0	90	6	15.0	74	11	6.7	71	10	7.1
小・中学校	栄養教諭	—	—	—	22	3	7.3	—	—	—	19	5	3.8
小中学校合計		821	25	32.8	751	37	20.3	798	66	12.1	744	88	8.5
高等学校	国語	53	2	26.5	51	2	25.5	47	2	23.5	35	2	17.5
	地歴	46	1	46.0	36	1	36.0	募集なし	—	—	30	1	30.0
	公民	58	1	58.0	35	1	35.0	募集なし	—	—	26	1	26.0
	数学	40	1	40.0	40	1	40.0	31	1	31.0	30	1	30.0
	理科	61	1	61.0	61	1	61.0	44	1	44.0	41	1	41.0
	音楽	募集なし	—	—	38	1	38.0	募集なし	—	—	11	1	11.0
	美術	募集なし	—	—	37	1	37.0	募集なし	—	—	19	1	19.0
	書道	募集なし	—	—	募集なし	—	—	15	0	—	18	1	18.0
	保体	68	2	34.0	70	2	35.0	64	3	21.3	63	2	31.5
	英語	49	1	49.0	42	2	21.0	50	3	16.7	48	3	16.0
	家庭	募集なし	—	—	40	1	40.0	募集なし	—	—	20	1	20.0
	水産	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—
	農業	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—
	工業(電気・電子)	10	1	10.0	8	1	8.0	21	1	21.0	募集なし	—	—
	工業(機械)	9	2	4.5	7	1	7.0	16	1	16.0	募集なし	—	—
	工業(建築)	12	1	12.0	10	0	—	13	1	13.0	募集なし	—	—
	工業(土木)	募集なし	—	—	募集なし	—	—	7	1	7.0	7	1	7.0
	工業(インテリア)	2	0	—	0	0	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—
	商業	募集なし	—	—	27	1	27.0	募集なし	—	—	29	1	29.0
	看護	2	0	—	募集なし	—	—	4	1	4.0	募集なし	—	—
	福祉	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—
	小計	410	13	31.5	502	16	31.4	316	16	19.8	387	19	20.4
	特別支援学校	小学部	募集なし	—	—	21	2	10.5	19	1	19.0	15	3
特別支援学校	中学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	3	14.3
特別支援学校	国語	募集なし	—	—	3	0	—	募集なし	—	—	平成21年度は、「中学校教諭」及び「高等学校教諭」で実施の教科について「特別支援学校教諭(中学部・高等部)」として実施。この表では上の中学部の欄の数値で示しています。		
特別支援学校	社地歴公	募集なし	—	—	13	1	13.0	募集なし	—	—			
特別支援学校	数学	4	1	4.0	募集なし	—	—	募集なし	—	—			
特別支援学校	理科	10	1	10.0	募集なし	—	—	2	0	—			
特別支援学校	音楽	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—			
特別支援学校	保体	募集なし	—	—	16	1	16.0	募集なし	—	—			
特別支援学校	英語	募集なし	—	—	募集なし	—	—	2	0	—			
特別支援学校	理療	募集なし	—	—	募集なし	—	—	募集なし	—	—			
特別支援学校	栄養教諭	—	—	—	3	1	3.0	—	—	—			
特別支援学校	小計	14	2	7.0	56	5	11.2	23	1	23.0			
県立学校養護教諭	募集なし	—	—	募集なし	—	—	11	1	11.0	—	—	—	
県立学校合計	424	15	28.3	558	21	26.6	350	18	19.4	446	26	17.2	
小・中・特別支援学校栄養教諭	—	—	—	—	—	—	18	4	4.5	—	—	—	
総合計	1245	40	31.1	1309	58	22.6	1166	88	13.3	1190	114	10.4	

※名簿登載者数は平成20年10月3日現在(第1回発表)のもので、第2回発表を行う場合は平成21年2月中旬に実施する予定です。

定年退職者数の推移(平成20年度末～平成30年度末)



◎今後の採用について

高知県では、定年退職者数のピークを平成30年ごろ迎えます。採用する教員の数は定年退職者数の数や児童生徒数、学校の統廃合等により変動しますが、採用数が年度により大幅に変動することのないよう、計画的な採用を行っていきたくと考えています。

平成21年度 第1次審査筆記審査  
(教職・一般教養、専門教養)の平均点

校種・教科等	受験者数	平均点	
教職・一般教養	1205	55.4	
小学校	285	58.7	
中学校	国語	53	61.5
	社会	79	59.3
	数学	48	37.7
	理科	38	41.0
	音楽	30	61.1
	美術	12	68.8
	保健体育	65	55.3
	技術	10	80.5
	家庭	9	72.6
	英語	74	56.9
小中学校	養護教諭	73	78.1
小中学校	栄養教諭	20	79.7
高等学校	国語	35	60.5
	地理歴史	31	68.8
	公民	29	64.4
	数学	30	39.5
	理科	42	50.7
	音楽	11	58.9
	美術	19	76.6
	書道	18	65.1
	保健体育	63	59.7
	英語	49	64.6
	家庭	20	77.4
	水産	募集なし	—
	農業	募集なし	—
	工業(電気・電子)	募集なし	—
	工業(機械)	11	34.0
	工業(建築)	8	29.3
	工業(土木)	募集なし	—
	工業(インテリア)	募集なし	—
	商業	29	72.7
	看護	募集なし	—
福祉	募集なし	—	
特別支援	小学部	15	58.3
	中高等部	—	—
県立学校	養護教諭	募集なし	—
小中特支	栄養教諭	募集なし	—

(100点満点)

# 平成 21 年度 高知県公立学校教員採用候補者選考審査

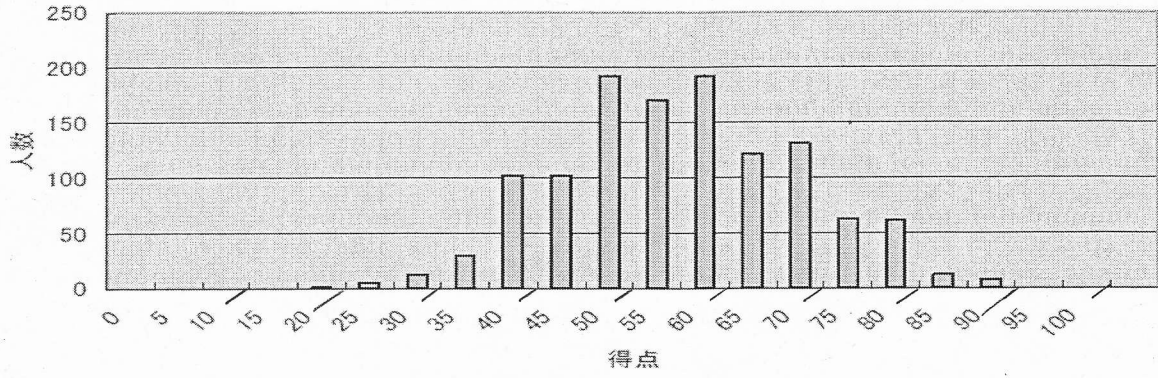
## 第 1 次審査筆記審査の概況

### 1 教職・一般教養

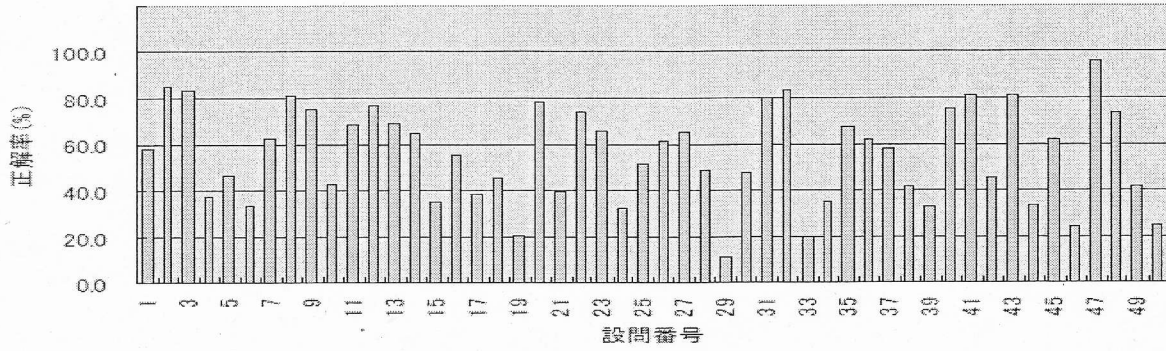
- (1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会教育政策課ホームページに掲載)
- ・学習指導要領 (校種別選択問題)
  - ・教育法規
  - ・教育原理・教育心理
  - ・教育史
  - ・特別支援教育
  - ・生徒指導 (「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」に係る問題)
  - ・人権教育 (高知県人権教育プランに係る問題)
  - ・教育に関する時事問題 (学校評価に係る問題、学習指導要領改訂に関する問題など)
  - ・一般的な時事に関する問題 (環境・自然科学に関する問題、少子化対策に関する問題など)
  - ・高知県独自問題 (教育改革 10 年を未来につなげる会の提言に係る問題)
- (2) 得点分布より  
平均点 55.4 点
- (3) 正解率より
- ①正解率の低かった問題
- 問題番号 19 教育史上の人物及び著作物に関する問題(20.6%)
  - 問題番号 29 不登校に係る問題(11.5%)
  - 問題番号 33 人権教育の指導方法等のあり方について「第二次とりまとめ」に関する問題(19.8%)
  - 問題番号 46 新型インフルエンザに関する記述についての問題(24.6%)
  - 問題番号 50 教育改革 10 年を未来につなげる会の提言に係る問題(25.1%)
- ②正解率の高かった問題
- 問題番号 2 学習指導要領に関する問題(85.2%)
  - 問題番号 3 学習指導要領に関する問題(83.8%)
  - 問題番号 8 教育公務員特例法に関する問題(81.4%)
  - 問題番号 31 高知県人権教育プランに係る問題(79.9%)
  - 問題番号 32 高知県人権教育プランに係る問題(83.3%)
  - 問題番号 41 日本経済の現状を記載した閣議決定文に関する問題(81.0%)
  - 問題番号 43 「宇宙開発に関する長期的な計画」に関する問題(81.4%)
  - 問題番号 47 教育改革 10 年を未来につなげる会の提言に係る問題(95.4%)

[参考]

教職・一般教養



教職・一般教養正解率(全校種)



## 2 小学校全科

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問 国語、社会に関する問題
- 第2問 算数、理科に関する問題
- 第3問 生活、音楽に関する問題
- 第4問 図画工作、家庭に関する問題
- 第5問 体育に関する問題

(2) 得点分布より

45点から75点までの範囲に全体の約84%が集中している。得点率5割未満であった者の割合は全体の約18%で、得点率7割以上であった者は全体の約17%である。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約40%ある。社会と家庭は全問正解率が50%を上回っており、国語、算数、理科、音楽、体育は出題数の半分以上が正解率50%を下回っている。

平均点58.7点。

① 正解率の低かった問題

- 第1問 1 (3) 国語での文中の空欄に入ることばの組み合わせを考える問題 (29.1%)
- 第1問 2 (1) 国語での形容動詞の連用形の活用語尾を考える問題 (22.8%)
- 第1問 2 (2) 国語でのことわざ・故事成語の正しい意味を考える問題 (26.7%)
- 第2問 11 算数での確率に関する問題 (21.4%)
- 第2問 17 理科での豆電球を直列につないだときの抵抗を考える問題 (28.4%)
- 第3問 20 (2) 生活での小学校学習指導要領解説における配慮事項に関する問題 (4.9%)

- 第3問 27 音楽での楽譜の転調とソプラノリコーダーの運指を考える問題 (23.2%)
- 第4問 29 (1) 図画工作での版画に関する問題 (19.3%)
- 第5問 34 (3) 体育での小学校学習指導要領解説における内容に関する問題 (15.4%)

② 正解率の高かった問題

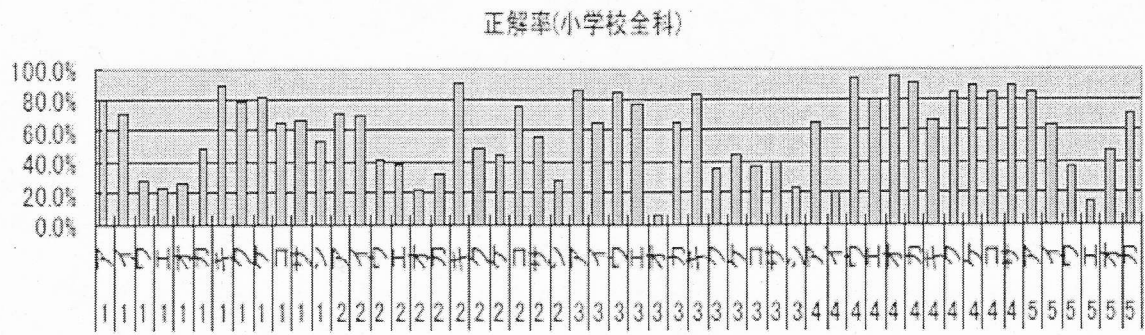
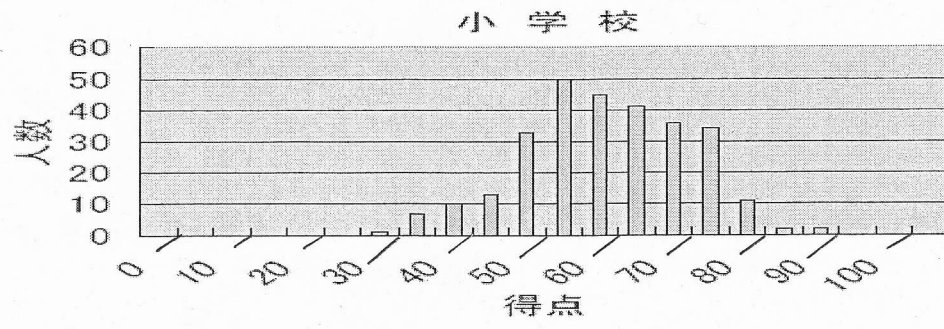
- 第1問 4 (1) 社会での小学校学習指導要領の目標に関する問題 (88.1%)
- 第2問 13 理科での小学校学習指導要領の目標に関する問題 (89.5%)
- 第3問 18 生活での小学校学習指導要領の目標に関する問題 (86.3%)
- 第3問 19 (2) 生活での小学校学習指導要領解説の内容に関する問題 (85.6%)
- 第4問 29 (2) 図画工作での構成美の要素に関する問題 (93.7%)
- 第4問 29 (4) ① 図画工作での「ひまわり」の作者を考える問題 (94.7%)
- 第4問 29 (4) ② 図画工作での「富嶽三十六景」の作者を考える問題 (89.8%)
- 第4問 30 (3) 家庭での小学校学習指導要領の指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに関する問題 (88.4%)
- 第4問 31 家庭での調理品の体内での主な働きに関する問題 (85.3%)
- 第4問 32 家庭での手縫いに関する問題 (87.7%)

(4) その他

他の教科と比べると、第2問の算数と第5問の体育において特に応答率が下がっている。次に応答率が低いのは第4問の家庭である。



[参考]



### 3 国語（中学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 言語事項に関する問題
- 第2問 現代文に関する問題
- 第3問 古文に関する問題
- 第4問 漢文に関する問題
- 第5問 中学校学習指導要領国語に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の約24%、得点率5割未満であった者は全体の約14%であった。  
平均点61.5点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約26%である。第3問の全問が正解率50%を超えている。問題別にみた場合、特定の領域に偏っているという傾向はみられない。

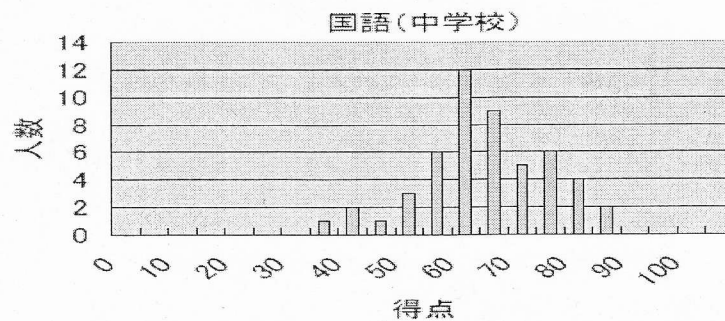
① 正解率の低かった問題

- 第1問7の萩原朔太郎の詩集を答える問題（7.8%）
- 第2問9の文章中の空欄に当てはまることばを答える問題（21.6%）
- 第4問1の本文中の空欄に入ることばを答える問題（25.5%）
- 第4問2の本文中の空欄に入る文字の組み合わせを答える問題（23.5%）
- 第5問2の中学校学習指導要領国語における「書くこと」の指導事項を答える問題（9.8%）

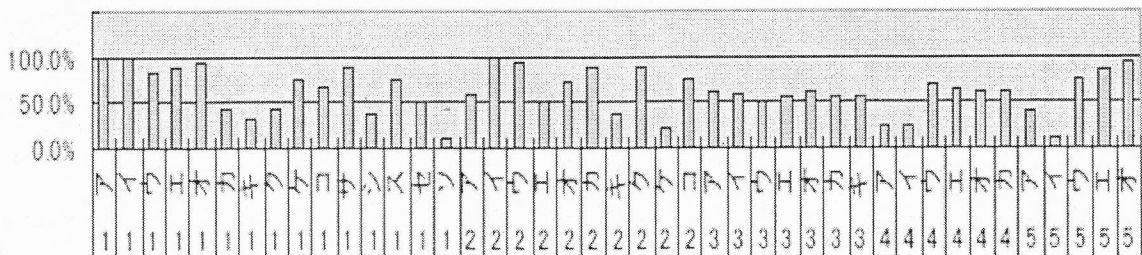
② 正解率の高かった問題

- 第1問1（1）・（2）の漢字に関する問題（（1）は100.0%、（2）は100.0%）
- 第1問2（1）の熟語の読みに関する問題（94.1%）
- 第2問2の文章中の空欄に当てはまることばの組み合わせを答える問題（100.0%）
- 第2問3の文章中の空欄に当てはまることばを答える問題（92.2%）
- 第5問5の中学校学習指導要領国語における「言語事項」の3の指導事項を答える問題（94.1%）

[参考]



正解率(中学校 国語)



## 4 国語（高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 言語事項に関する問題
- 第2問 現代文に関する問題
- 第3問 古文に関する問題
- 第4問 漢文に関する問題
- 第5問 高等学校学習指導要領国語に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の約34%、得点率5割未満であった者は全体の29%であった。  
平均点60.5点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約35%である。特に、第5問では全問が正解率50%を下回っている。

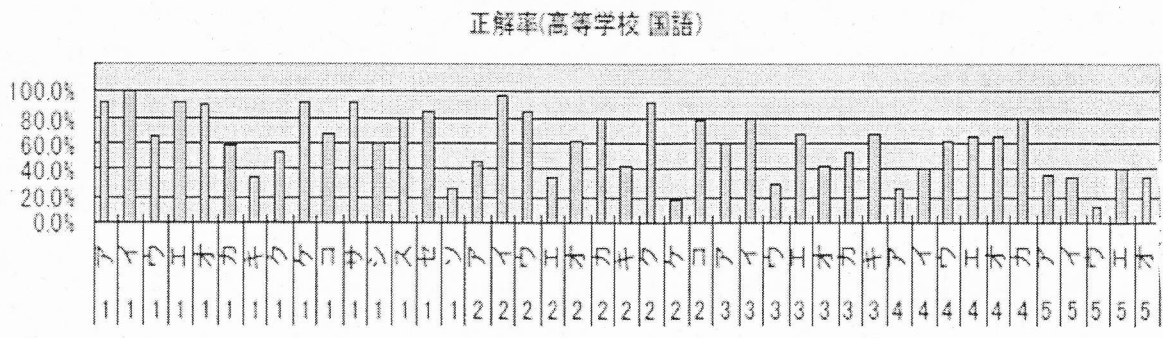
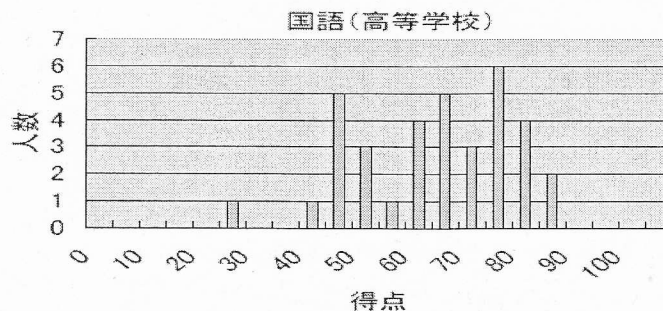
① 正解率の低かった問題

- 第1問7の萩原朔太郎の詩集を答える問題 (25.7%)
- 第2問9の文章中の空欄に当てはまることばを答える問題 (17.1%)
- 第3問3の「あさましう下りて」の解釈として最も適切なものを答える問題 (28.6%)
- 第4問1の本文中の空欄に入ることばを答える問題 (25.7%)
- 第5問3の高等学校学習指導要領国語における「国語総合」の「内容」のことばを答える問題 (11.4%)

② 正解率の高かった問題

- 第1問1 (1)・(2)・(4)の漢字に関する問題 ((1)は91.4%、(2)は100.0%、(4)は91.4%)
- 第1問3(2)の「堰を切ったように」ということばの使い方に関する問題 (91.4%)
- 第1問4の誤った使い方をして敬語表現を答える問題 (91.4%)
- 第2問2の文章中の空欄に当てはまることばの組み合わせを答える問題 (97.1%)
- 第2問8の文章中の空欄に当てはまることばを答える問題 (91.4%)

[参考]



## 5 社会（中学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 地理、歴史に関する基礎的な知識を問う問題。
- 第2問 政治・経済に関する基礎的知識・理解を問う問題
- 第3問 地理に関する専門的知識・理解を問う問題
- 第4問 歴史に関する専門的知識・理解を問う

(2) 得点分布より

- 7割以上の得点率の者は約23%。
- 平均点59.3点

(3) 正解率より

① 正解率の低かった問題

- 第1問 5 侵食により形成される地形に関する問題(11.4%)
- 第1問 6 ケッペンの気候区分に関する問題(31.4%)
- 第1問 10 推古天皇の時代の政策に関する問題(35.7%)
- 第1問 12 江戸幕府の政策に関する問題(32.9%)
- 第2問 1 「社会づくり」に関する問題(35.7%)
- 第2問 12 経済のグローバル化に伴う諸問題に係る問題(35.7%)
- 第3問 1 の(2)アジアの稲作に関する問題(32.9%)
- 第3問 1 の(3)アジアの国の記述に関する問題(21.4%)
- 第4問 1 の(2)「冷たい戦争」の時代に関する問題(32.9%)
- 第4問 2 の(2)植民地支配や専制的支配からの解放に関する問題(35.7%)

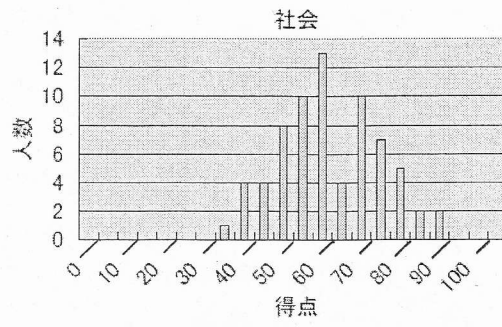
② 正解率の高かった問題

- 第1問 3 工業の特色に関する問題(100%)
- 第1問 4 家畜に関する問題(94.3%)
- 第1問 8 地図の縮尺に関する問題(85.7%)
- 第1問 14 自由民権論を説いた思想家に関する問題(91.4%)
- 第1問 16 サンフランシスコ平和条約に関する問題(85.7%)
- 第2問 4 日本国憲法にある基本的人権に関する問題(80.0%)
- 第2問 5 日米の政治制度に関する問題(82.9%)
- 第2問 6 (95.7%)ソ連の政治改革についての問題
- 第2問 10 労働の需要に関する問題(87.1%)
- 第2問 11 国際組織の中の普遍的組織についての問題(87.1%)
- 第3問 1 の(1)アジア諸国の農産物に関する問題(92.9%)

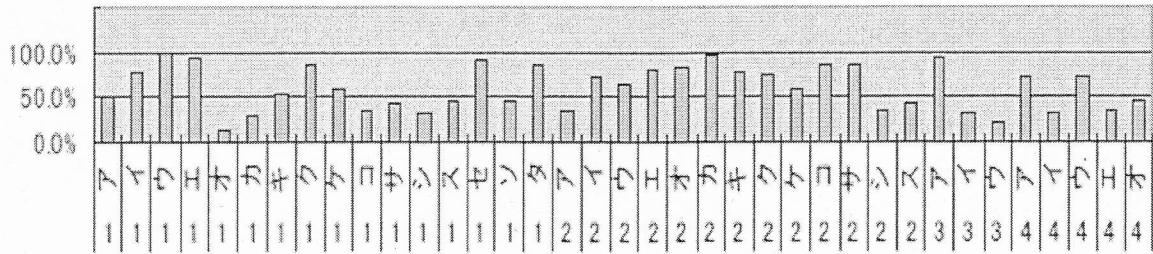
(4) その他

- 第1問 1 を誤答のaとする解答が41.4%あった。
- 第2問 1 を誤答のaとする解答が34.3%あった。
- 第3問 2 を誤答のaとする解答が35.7%あった。
- 第3問 3 を誤答のdとする解答が57.1%あった。

[参考]



正解率(中学校 社会)



## 6 地理歴史（高等学校）

### 【地理選択者】

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

共通問題 第3問 地理に関する基礎的知識・理解を問う問題

選択問題 第4問 地理に関する専門的知識・理解を問う問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者は全体の60%であり、8割以上は20%であった。また、5割未満は20%であった。

地理歴史の平均点68.8点。

(3) 正解率より

共通問題として、地理に関する基礎的知識・理解を問う問題の正解率は78%であった。

選択問題として、地理に関する専門的知識・理解を問う問題の正解率は73.3%であった。

① 正解率の低かった問題

第3問 1 ある府県別の人口増加数を示した表から千葉県を答える問題。(40%)

第4問 1 (2) アジアの稲作について述べた文として正しいものを答える問題。(40%)

② 正解率の高かった問題

第3問 2 モロッコの伝統料理を答える問題。(100%)

第3問 4 イランの地下水路を答える問題。(100%)

第3問 5 ある工業の特色を述べた文からIC（集積回路）工業を答える問題。(100%)

第3問 6 アンデス山脈の家畜を答える問題。(100%)

第3問 10 五万分の一地形図上において、実際の面積を答える問題。(100%)

第4問 1 (1) ある農作物の生産量及び世界合計に占める割合を示した表をみて、ある農作物を答える問題。(100%)

第4問 2 (1) 年齢別人口構成で65歳以上の人口割合が最も大きい国を答える問題。(100%)

(4) その他

第3問 1 ある府県別の人口増加数を示した表から千葉県を選ぶ問題において、首都圏の人口動勢の理解を誤り、選択肢bを40%が選択している。

第4問 1 (2) アジアの稲作について述べた文として正しいものを選ぶ問題において、アジアの集約的農業や土地生産性の観点からの理解を誤り、選択肢aを60%が選択している。

最後の問題まで全員が応答している。

### 【日本史選択者】

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

共通問題 第2問2～11 日本史に関する基礎的な知識を問う問題

選択問題 第4問1 平安時代、鎌倉時代の文化、宗教に関する問題

第4問2 明治新政府の諸政策に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の60%、得点率5割未満であった者は全体の20%であった。

地理歴史の平均点68.8点。

(3) 正解率より

① 正解率の低かった問題

第1問 5 地動説を主張した人物に関する問題(38.9%)

- 第3問 7 地形に関する問題(22. 2%)  
第3問 9 穀物自給率に関する問題(33. 3%)

② 正解率の高かった問題

- 第1問 3 旅行記に関する問題(88. 9%)  
第2問 7 江戸時代の滑稽本の作者に関する問題(100%)  
第2問 9 自由民権論を説いた思想家に関する問題(94. 4%)  
第2問 11 サンフランシスコ平和条約に関する問題(88. 9%)  
第3問 2 世界の食文化に関する問題(94. 4%)  
第3問 4 灌漑用地下水路に関する問題(88. 9%)  
第3問 5 工業の特色に関する問題(100%)  
第3問 6 家畜に関する問題(94. 4%)

(4) その他

- 第3問7地形に関する問題で誤答「ケスタ」の選択者が約40%あった。  
第3問9穀物自給率に関する問題で誤答「スウェーデン」の選択者が約45%あった。

**【世界史選択者】**

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問 古代から現代までの西洋・東洋の政治、文化史を幅広く問う問題。  
第2問 1 古代中国と日本との交流についての問題。  
第2問 11 戦後日本の独立についての問題。  
第4問 1 古代中国の春秋・戦国時代から秦についての問題。  
第4問 2 20世紀後半の冷戦、多極化についての問題。

(2) 得点分布より

- 得点率7割以上であった者の割合は全体の60%、得点率5割未満であった者は全体の20%であった。  
地理歴史の平均点68. 8点。

(3) 正解率より (共通11問、選択6問)

- 正解率50%を下回った問題が全体の6%あるが、問題別にみた場合、特定の領域に偏っているという傾向は見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第1問10の太平天国が掲げた改革について、誤りを答える問題(42. 9%)

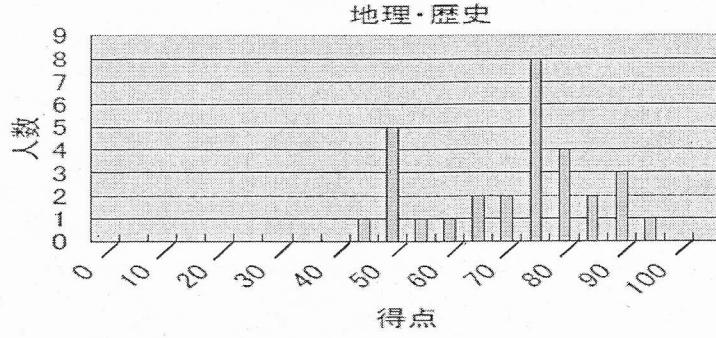
② 正解率の高かった問題

- 第1問2のストアは哲学者とその著書の組み合わせを答える問題(100%)  
第1問7の16～18世紀にラテンアメリカからヨーロッパにもたらされた主要物産を答える問題(100%)  
第4問1(2)の天下統一後の秦の様々な改革を答える問題(100%)  
第4問2(1)の「冷たい戦争」の時代の出来事を答える問題(100%)

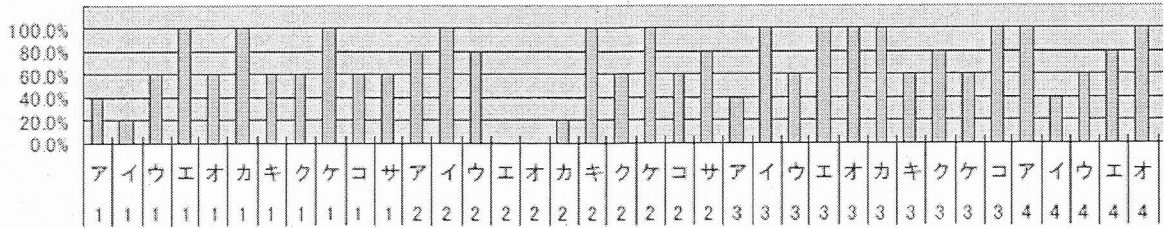
(4) その他

- 最後の問まで全員が応答しており、極端に難度の高い問題や時間の不足はなかったものとする。

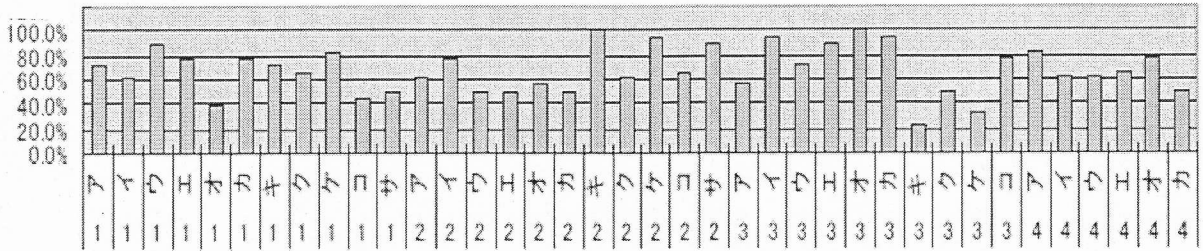
[参考]



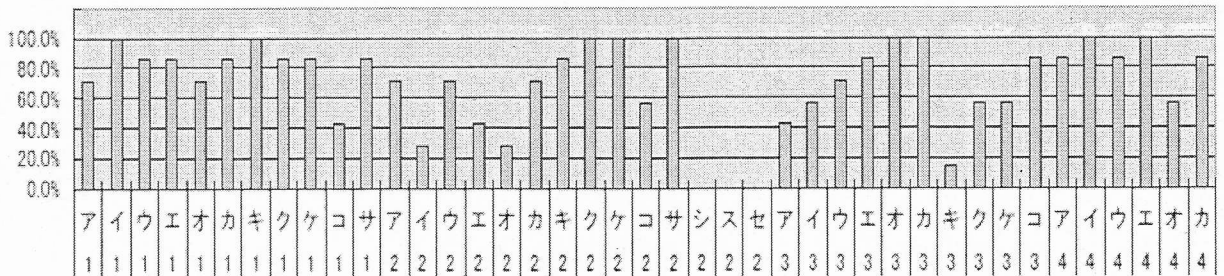
正解率(高等学校 地理歴史(地理))



正解率(高等学校 地理歴史(日本史))



正解率(高等学校 地理歴史(世界史))





## 7 公民（高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

共通問題	第1問	倫理に関する基礎的知識・理解を問う問題
共通問題	第2問	政治・経済に関する基礎的知識・理解を問う問題
選択問題	第3問	倫理に関する専門的知識・理解を問う問題
		政治・経済に関する専門的知識・理解を問う問題

(2) 得点分布より（共通問題）

得点率7割以上であった者の割合は全体の31%、得点率5割未満であった者は全体の19%であった。

平均点64.4点。

### 【倫理選択者】

(3) 正解率より

共通問題として、倫理に関する基礎的知識・理解を問う問題の正解率は64%であり、政治・経済に関する基礎的知識・理解を問う問題の正解率は64%であった。選択問題として、倫理に関する専門的知識・理解を問う問題の正解率は44%であった。

① 正解率の低かった問題（倫理分野選択者）

- 第3問1(1)のライプニッツの哲学の説明を答える問題(0%)
- 第3問1(2)のヒュームの哲学の説明を答える問題(18.2%)
- 第3問2(3)の王陽明の人物の説明を答える問題(27.3%)
- 第1問1(10)の宗教改革に関係した人物を答える問題(45.5%)

② 正解率の高かった問題（倫理分野選択者）

- 第3問1(3)のカントの批判哲学の説明を答える問題(100%)
- 第1問1(1)の道教の思想家を答える問題(90.9%)
- 第1問2(4)の「アイデンティティの確立」を重視した学者を答える問題(90.9%)
- 第1問1(5)のイエスの言行を答える問題(90.9%)
- 第1問2(8)のインド哲学の「宇宙の諸現象の根源」の用語を答える問題(90.9%)
- 第1問2(11)の人間を「ホモルーデンス」と定義した人物を答える問題(90.9%)
- 第1問2(13)のハイデッガーが定義した用語を答える問題(90.9%)

(4) その他

(倫理選択者)

第3問1(1)のライプニッツの哲学の説明を答える問題において、モナドに対する理解を誤り、選択肢bを81.8%が選択している。

第3問1(2)のヒュームの哲学の説明を答える問題において、ヒュームの経験論の立場に対する理解を誤り、選択肢dを36.4%が選択している。

第3問2(2)の王陽明の人物の説明を答える問題において、「心即理」の理解を誤り、選択肢aを36.4%が選択している。

第1問1(10)の宗教改革に関係した人物を答える問題において、ツヴィングリの理解を誤り、選択肢dを54.5%が選択している。

最後の問題まで全員が応答している。

### 【政治経済選択者】

(3) 正解率より

(政治・経済選択者)

共通問題として、倫理に関する基礎的知識・理解を問う問題の正解率は56%であり、政治・経済に関する基礎的知識・理解を問う問題の正解率は73%であった。

選択問題として政治・経済に関する専門的知識・理解を問う問題の正解率は52%であった。

① 正解率の低かった問題

- 第1問1 (10) の宗教改革に関係した人物を答える問題 (13.3%)
- 第2問1 (13) の金融の規制緩和の説明を答える問題 (26.7%)
- 第3問2 (1) の国連憲章第11条に関する問題 (33.3%)
- 第3問2 (3) の生物・毒素兵器禁止条約の説明を答える問題 (20%)

② 正解率の高かった問題

- 第1問1 (14) の「社会化」の説明を答える問題 (100%)
- 第2問 (2) の日本国憲法において国民の意思を反映させる原理について答える問題 (93.3%)
- 第2問 (4) の日本国憲法で保障された基本的人権についての説明を答える問題 (100%)
- 第2問 (6) のソ連ゴルバチョフ書記長が推進した改革の名称について答える問題 (93.3%)
- 第3問 (1) のIMFの目的について説明について答える問題 (73.3%)

(4) その他

(政治・経済選択者)

第1問1 (10) の宗教改革に関係した人物を答える問題において、ツヴィングリの理解を誤り、選択肢dを80.0%が選択している。

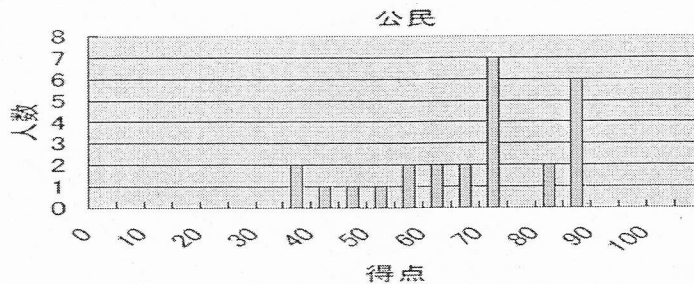
第2問1 (13) の金融の規制緩和の説明に答える問題において、外国為替の取引業務についての理解を誤り、選択肢cを46.7%が選択している。

第3問2 (1) の国連憲章第11条に関する問題において、総会についての理解を誤り、選択肢aを53.3%が選択している。

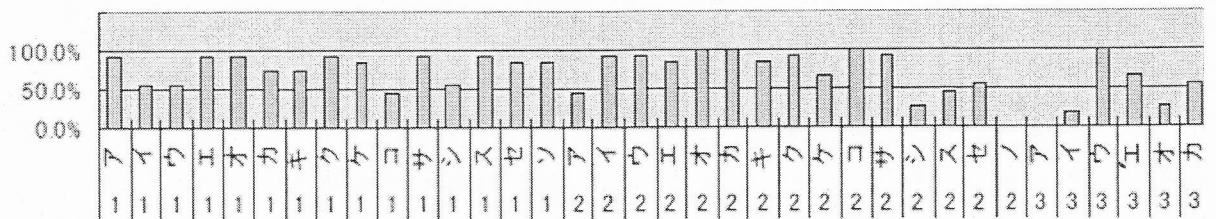
第3問2 (3) の生物・毒素兵器禁止条約の説明を答える問題において、BWCの検証機構についての理解を誤り、選択肢dを53.3%が選択している。

最後の問題まで全員が応答している。

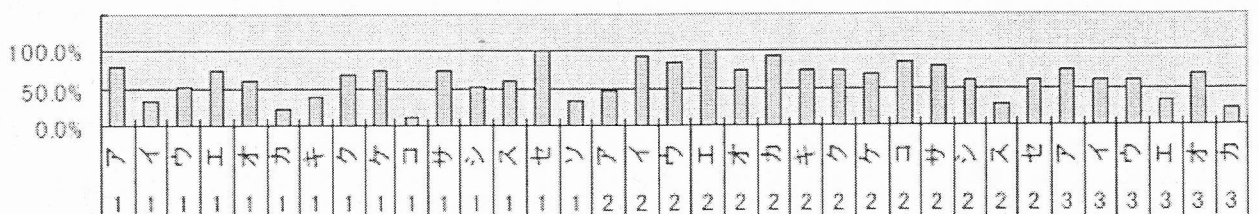
[参考]



正解率(高等学校 公民(倫理))



正解率(高等学校 公民(政治経済))



## 8 数学（中学校・高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 (1) 平面図形に関する問題  
 (2) 連立方程式に関する問題  
 (3) 図形と方程式に関する問題  
 (4) 極限に関する問題  
 (5) 微分方程式に関する問題
- 第2問 確率に関する問題  
 第3問 数列に関する問題  
 第4問 ベクトルに関する問題  
 第5問 式と曲線に関する問題  
 第6問 積分法に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の6.0%、得点率5割未満であった者は全体の69.7%である。

中学校平均点37.7点、高等学校平均点39.5点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約61.9%、正解率20%を下回った問題が全体の約23.8%である。問題別にみた場合、数学Ⅲ、数学Cの分野に関する問題の正解率が低い。

① 正解率の低かった問題

- 第1問 (4) 極限に関する問題 (21.1%)  
 第5問 (2) (3) 楕円の性質に関する問題 (18.4%、17.1%、15.8%)  
 第6問 (2) (3) 被積分関数に文字を含む場合の問題 (18.4%、2.6%)

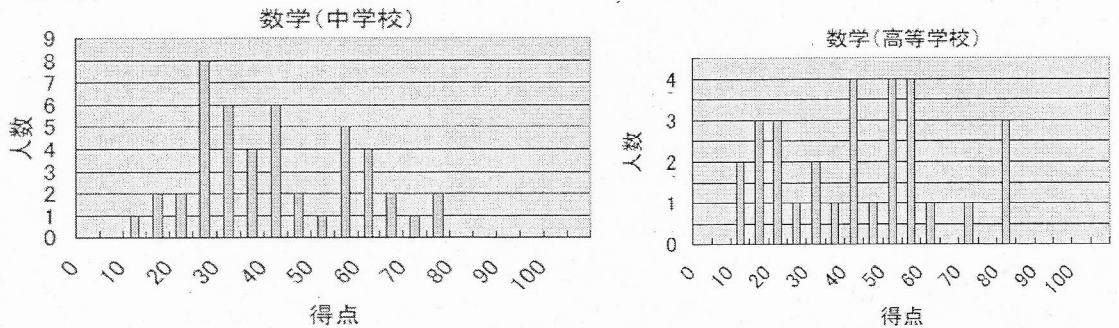
② 正解率の高かった問題

- 第1問 (1) 平面図形に関する問題 (69.7%)  
 第2問 (1) 2個のさいころを投げたときの確率を求める問題 (63.2%)  
 第3問 (1) 群数列において項数を求める問題 (67.1%)  
 第5問 (1) 楕円と直線の共有点の座標を求める問題 (60.5%)  
 第6問 (1) 三角関数の定積分を求める問題 (53.9%、63.2%)

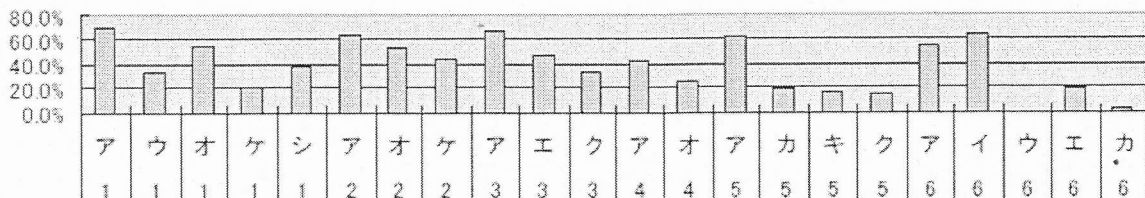
(4) その他

大問において、小問の前半にいくほど応答率が高い傾向がある。

[参考]



正解率(中学校・高等学校 数学)



## 9 理科（中学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

第1問（物理・化学領域）

- 1 物理の基礎的内容（運動、気体方程式、電磁気、光学、正弦波）に関する問題
- 2 斜面上の物体にはたらく力と仕事に関する問題
- 3 化学の基礎的内容（身のまわりの物質と現象、物質の総電子数とモル濃度）に関する問題
- 4 化学薬品の取り扱い方と性質に関する問題

第2問（生物・地学領域）

- 1 生物の基礎的内容（ヒトの消化酵素）に関する問題
- 2 生物の基礎的内容（ヒトの眼の構造とはたらき）に関する問題
- 3 生物の基礎的内容（ヒトの血液型と出現）に関する問題
- 4 地学の基礎的内容（気象分野における断熱変化と雲の発生）に関する問題
- 5 地学の基礎的内容（地震波と地球内部構造）に関する問題
- 6 地学の基礎的内容（太陽表面の特徴）に関する問題
- 7 中学校学習指導要領における理科第一分野の目標に関する問題

第3問（物理領域）

- 1 コンデンサにおける極板間の電圧に関する問題
- 2 音の振動数に関する問題

第4問（化学領域）

- 1 酸化還元反応の化学反応式に関する問題
- 2 酸化還元反応に関する問題

第5問（生物領域）

- 1 顕微鏡下に見える大きさに関する問題
- 2 花芽形成と光周性に関する問題
- 3 動物の体液と恒常性に関する問題

第6問（地学領域）

- 1 外惑星の会合周期に関する問題
- 2 地層の重なりと新旧、地形に関する問題
- 3 地球表面におけるエネルギー輸送に関する問題

(2) 得点分布より

得点率6割以上であった者の割合は全体の5.4%、得点率5割未満であったものは全体の73.0%、得点率3割未満であった者の割合は全体の32.4%であった。

平均点41.0点。

(3) 正解率より

正解率は全般的に低く、正解率50%を上回った問題が全体の26.1%、学習指導要領に関する問題の正解率は25%未満である。問題別に見ると、中学校で扱う内容についての問題では正解率が高いが、中学校では扱わない内容の問題については極端に低い傾向が見られる。

① 正解率の低かった設問

- 第1問2 (3) 摩擦力がした仕事を求める問題 (2.7%)
- 第1問3 (2) アンモニアの性質に関する問題 (8.1%)
- 第2問2 (1) ヒトの目の視細胞の名称とはたらきを答える問題 (8.1%)
- 第3問1 (2) コンデンサの極板間電圧をもとめる問題 (10.8%)

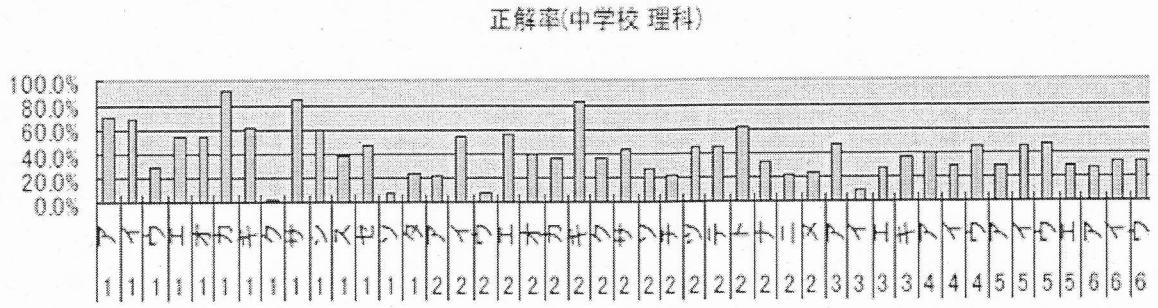
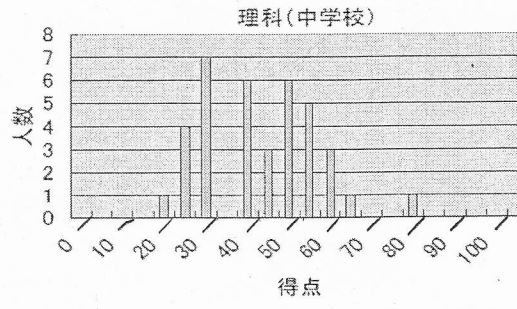
② 正解率の高かった設問

- 第1問2 (1) 斜面上の物体に働いている力の正しい組み合わせを答える問題 (91.9%)
- 第1問3 (1) 身のまわりの物質に関する現象や操作を答える問題 (83.8%)
- 第2問3 (2) ヒトの家族における血液型の出現可能性に関する問題 (81.9%)

(4) その他

最後の問まで全員が応答している。

[参考]



## 10 理科（高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 共通問題（物理・化学領域）
- 第2問 共通問題（生物・地学領域、学習指導要領における教科に関する問題）
- 第3問 専門問題（物理領域）
- 第3問 専門問題（化学領域）
- 第3問 専門問題（生物領域）
- 第3問 専門問題（地学領域）

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の17%、得点率5割未満であった者は全体の50%であった。

平均点50.7点。

### 【物理選択者】

(3) 正解率より

正解率が30%を下回った問題が全体の約18%あった。特に共通問題の2での正解率が低い。専門分野の問題では正解率が40%を下回った問題が1問あった。

① 正解率の低かった問題

- 第1問4(2)アンモニアに関する問題（0%）
- 第2問7(2)高等学校学習指導要領に関する問題（0%）
- 第2問4(4)フェーン現象に関する問題（14.3%）

② 正解率の高かった問題

- 第1問1(1)物体の投げ上げに関する問題（100%）
- 第1問1(2)ボイルの法則に関する問題（100%）
- 第1問2(1)斜面の物体にはたらく力に関する問題（100%）

(4) その他

無回答者が1名であった問題は、第1問3(3)、第3問3(2)、4(1)・(2)である。  
また、無回答者が2名であった問題は、第2問4(1)~(3)である。

### 【化学選択者】

(3) 正解率より

正解率が30%を下回った問題が全体の約20%あった。特に共通問題での正解率が低い。専門分野の問題では正解率が40%を下回った問題が2問あった。

① 正解率の低かった問題

- 第1問1(5)波に関する問題（18.1%）
- 第1問2(3)仕事の計算問題（9.1%）

② 正解率の高かった問題

- 第1問2(1)斜面の物体にはたらく力に関する問題（100%）

(4) その他

化学選択者、第3問(4)(5)の応答率が他の問題と比較して低かった。

### 【生物選択者】

(3) 正解率より

正解率が30%を下回った問題が全体の約20%あった。特に共通問題での正解率が低い。専門分野の問題では正解率が40%を下回ったものは無かった。

① 正解率の低かった問題

- 第1問2(3)仕事の計算問題（0.0%）
- 第1問3(2)アンモニアに関する問題（11.8%）
- 第2問4(4)フェーン現象による気温の変化のグラフを答える問題（17.6%）
- 第2問6(1)太陽の黒点のようすに関する問題（17.6%）

第2問6(2) 太陽の黒点の動きに関する問題 (11.8%)

② 正解率の高かった問題

第1問2(1) 斜面の物体にはたらく力に関する問題 (100%)

(4) その他

生物選択者は他の領域に関しての計算問題に対する無回答が多い。

【地学選択者】

(3) 正解率より

正解率が30%を下回った問題が全体約33%あった。特に共通問題での正解率が低い。専門科目の問題では正解率が40%を下回った問題が2問あった。

① 正解率の低かった問題

第1問2(3) 仕事の計算問題 (14.3%)

第1問3(3) 硫酸のモル濃度の問題 (14.3%)

第1問4(2) アンモニアに関する問題 (0.0%)

第1問4(3) 硫酸に関する問題 (14.3%)

第2問3(1) ヒトのABO式血液型に関する問題 (14.3%)

第2問7(1) 高等学校学習指導要領 「理科総合A」の目標についての問題(14.3%)

第3問1(2) 恒星の放射エネルギーの計算問題 (14.3%)

第3問1(3) 恒星の放射エネルギーの計算問題 (14.3%)

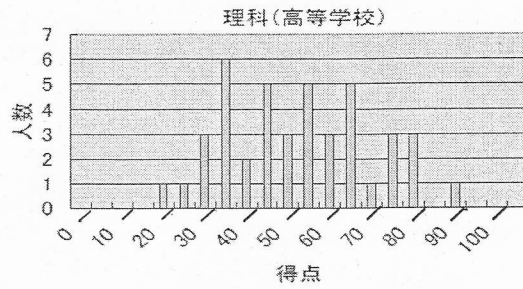
② 正解率の高かった問題

第1問2(1) 斜面の物体にはたらく力に関する問題 (100%)

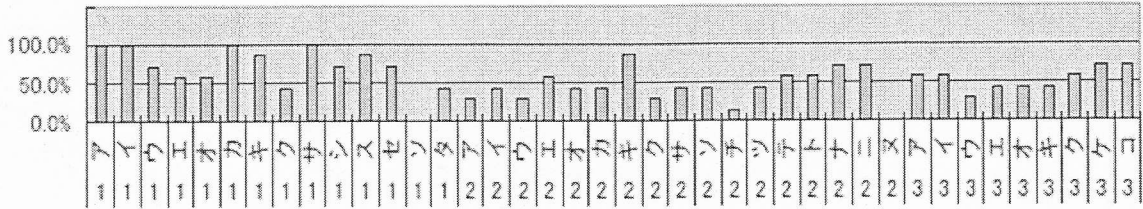
(4) その他

無回答者が1名であった問題は、第1問1(5)、3(3)、第2問4(3)、第3問1(3)である。また、無回答者が2名であった問題は、第3問1(2)である。

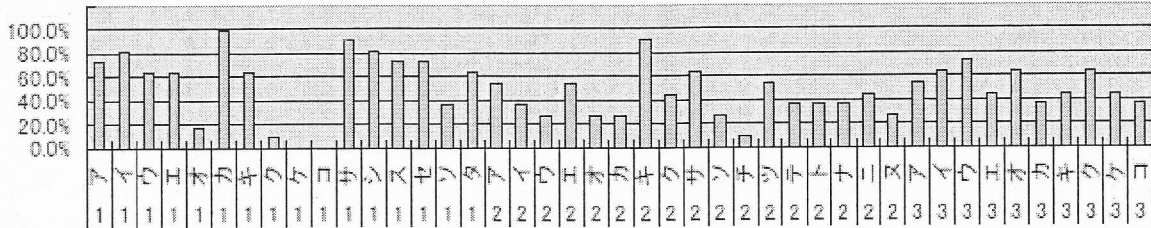
[参考]



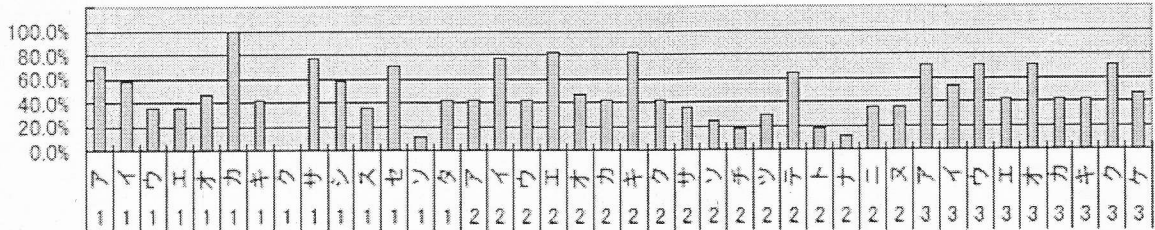
正解率(高等学校 理科(物理))



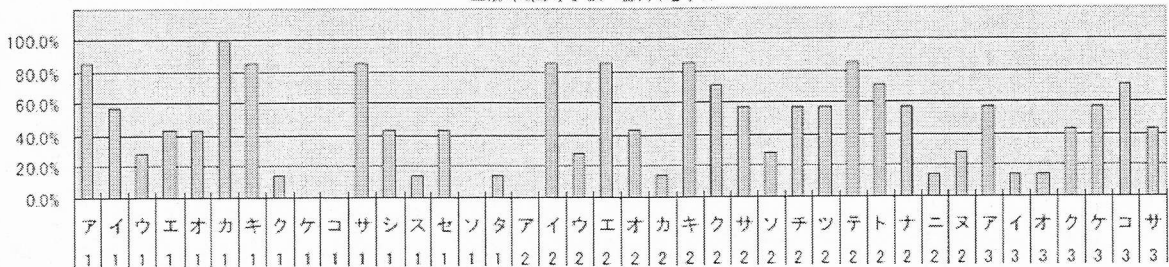
正解率(高等学校 理科(化学))



正解率(高等学校 理科(生物))



正解率(高等学校 理科(地学))





# 1 1 音楽 (中学校)

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問 1 音程に関する問題
- 2 調性に関する問題
- 3 コードネームに関する問題
- 第2問 1 音楽用語に関する問題
- 2 形式に関する問題
- 第3問 1 移調に関する問題
- 2 調判定に関する問題
- 第4問 オペラに関する問題
- 第5問 1 世界の諸民族の音楽に関する問題
- 2 日本の伝統音楽に関する問題
- 3 音楽史・祭囃子・和太鼓に関する問題
- 第6問 学習指導要領に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の14%、得点率5割未満であった者は全体の10%であった。

平均点61.1点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約30%ある。問題別にみた場合、「移調・調判定」「オペラ」「世界の民族の音楽」に関する問題の正解率が低かった。

① 正解率の低かった問題

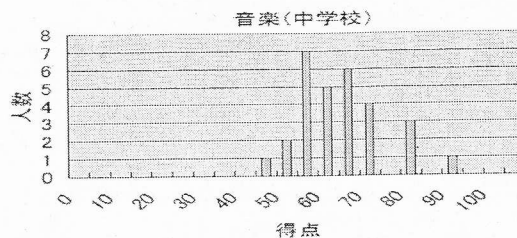
- 第4問 イ オペラの合唱のスタイルを問う問題 (17.2%)
- 第4問 オ オペラの登場人物の、声種、配役の組み合わせを問う問題 (13.8%)
- 第4問 カ オペラの原作の台本の作者を問う問題 (17.2%)
- 第5問 ウ 韓国の音楽に関する問題 (24.14%)
- 第5問 エ 世界の民族の音楽に関する問題 (10.34%)

② 正解率の高かった問題

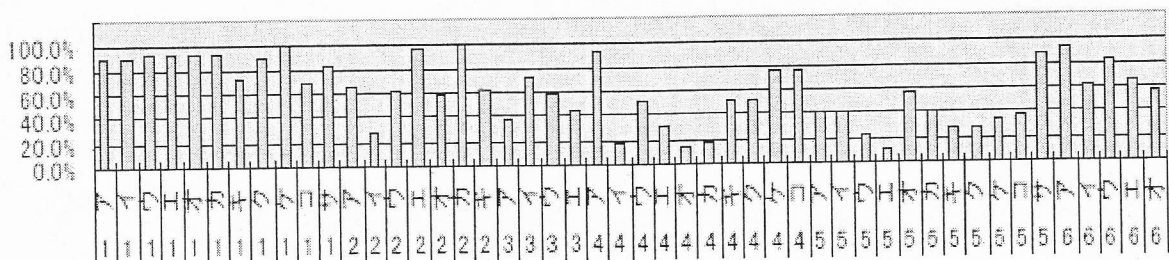
- 第1問 ケ コードネームを答える問題 (100%)
- 第2問 エ 奏法に関する用語を選ぶ問題 (96.6%)
- 第2問 カ 「ソナタ形式」を答える問題 (100%)

(4) その他

[参考]



正解率(中学校 音楽)



## 1 2 音楽 (高等学校)

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問 1 音程に関する問題  
 2 調性に関する問題  
 3 コードネームに関する問題
- 第2問 1 音楽用語に関する問題  
 2 形式に関する問題
- 第3問 1 移調に関する問題  
 2 調判定に関する問題
- 第4問 オペラに関する問題
- 第5問 1 世界の諸民族の音楽に関する問題  
 2 日本の伝統音楽に関する問題  
 3 音楽史・祭囃子・和太鼓に関する問題
- 第6問 学習指導要領に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の9%、得点率5割未満はいなかった。  
 平均点58.9点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約35%ある。問題別にみた場合、「移調・調判定」「世界の民族の音楽」に関する問題の正解率が低かった。

① 正解率の低かった問題

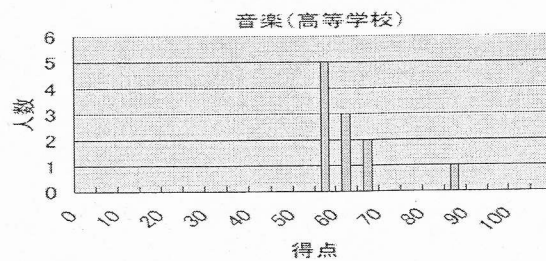
- 第2問 ウ 音楽用語に関する問題 (18.2%)  
 第4問 カ オペラの原作の台本の作者を問う問題 (9.1%)  
 第5問 エ 世界の民族の音楽に関する問題 (9.1%)

② 正解率の高かった問題

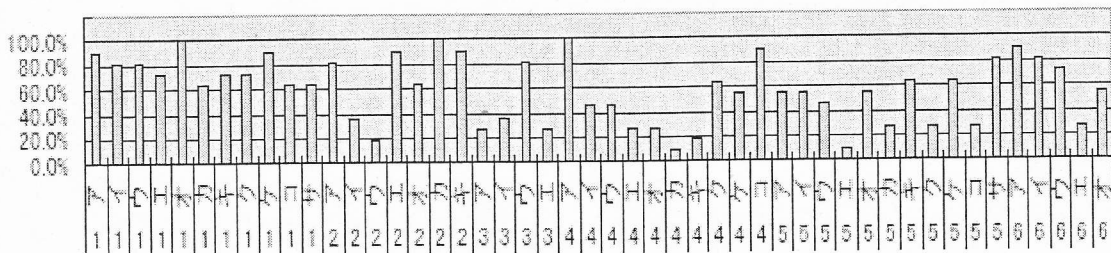
- 第1問 オ 音程に関する問題 (100%)  
 第2問 カ 「ソナタ形式」を答える問題 (100%)  
 第4問 ア オペラの舞台となった国名を答える問題 (100%)

(4) その他

[参考]



正解率(高等学校 音楽)



### 1 3 美術（中学校・高等学校）

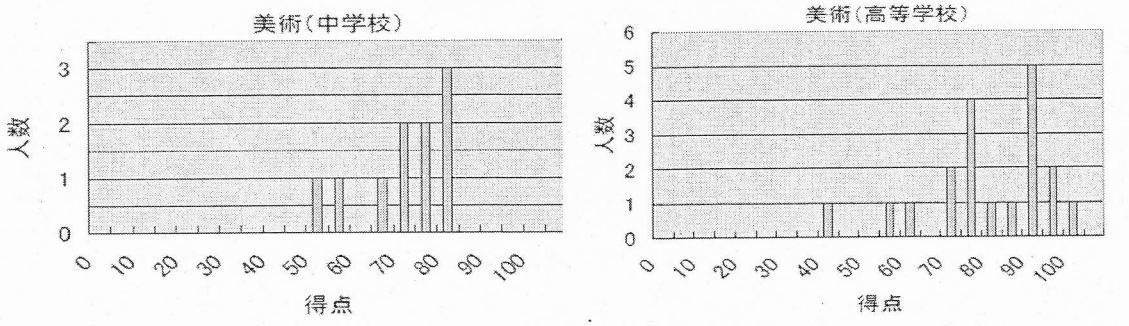
- (1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）
- |     |       |                  |                   |
|-----|-------|------------------|-------------------|
| 第1問 | 1・2・3 | 色彩に関する問題         |                   |
| 第2問 | 1・2   | レタリングに関する問題      | 3 デザインに関する問題      |
|     | 4・5・6 | 版画に関する問題         | 7 彫刻に関する問題        |
| 第3問 | 1     | 壁画に関する問題         | 1・2 道具に関する問題      |
|     | 2     | テンペラ画に関する問題      | 3・4・5 西洋の作家に関する問題 |
| 第4問 | 1     | 絵巻物に関する問題        | 2 ガウディに関する問題      |
| 第6問 | 1     | 作家作品 西洋の作品に関する問題 |                   |
|     | 2     | 作家作品 日本の作品に関する問題 |                   |
|     | 3     | 作家作品 立体に関する問題    |                   |

- (2) 得点分布より  
 得点立7割以上であった者について、中学校での割合は全体の70%で、高等学校では73.7%である。  
 中学校平均点68.8点、高等学校平均点76.6点

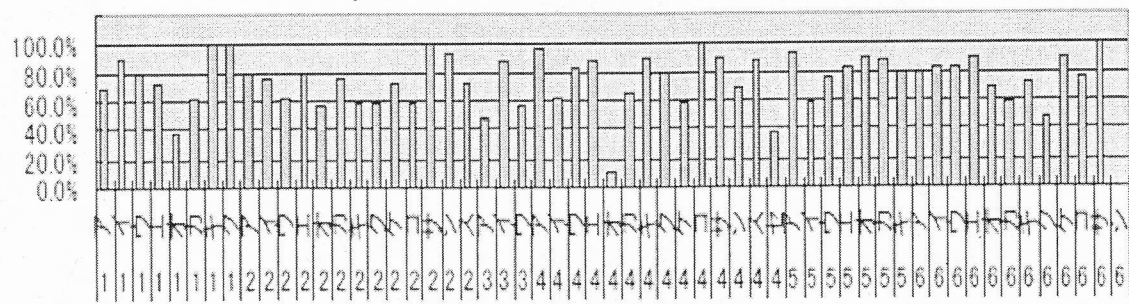
- (3) 正解率より  
 正解率が50%を下回った問題は、全体の8.9%である。
- ① 正解率の低かった問題
    - 第1問2 (2) 24色のPCCS色相環で黄色の左にある色名を問う問題 (37.9%)
    - 第4問2 (2) テンペラ画の特徴を問う問題 (10.3%)
    - 第4問5 (3) 作家カンディンスキーについて問う問題 (37.9%)
  - ② 正解率の高かった問題
    - 第1問3 (1) (2) 色の性質を問う問題 (100%)
    - 第2問7 (3) ロダン作「カレーの市民」はモデリングかカービングかを問う問題 (100%)
    - 第4問4 (2) 「睡蓮」を描いた作家を問う問題 (100%)
    - 第6問3 (3) 「太陽の塔」(写真)の作者を問う問題 (100%)

- (4) その他  
 最後の問いまで全員が応答している。

[参考]



正解率(中学校・高等学校 美術)



## 1 4 書道 (高等学校)

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問 1 平仮名、片仮名の字源に関する問題  
2 書道用語に関する問題
- 第2問 古典に関する問題
- 第3問・第4問 書の鑑賞等に関する問題
- 第5問 書に関する漢文についての問題
- 第6問 学習指導要領における書道Ⅲの内容に関する問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は全体の39%、得点率5割未満であった者は全体の11%であった。

平均点65.1点

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約25%あるが、問題別にみた場合、特定の領域に偏っているという傾向は見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第1問1 (5) の片仮名「ス」の字源を答える問題 (22.2%)
- 第2問1 (4) の「日野切」に関係の深い人物を答える問題 (22.2%)
- 第2問1 (5) の「楷書前後出師表巻」に関係の深い人物を答える問題 (16.7%)
- 第3問1 エの図版で示された「封」に使われた文字を答える問題 (5.6%)
- 第5問5 の漢文の内容を選ぶ問題 (22.2%)

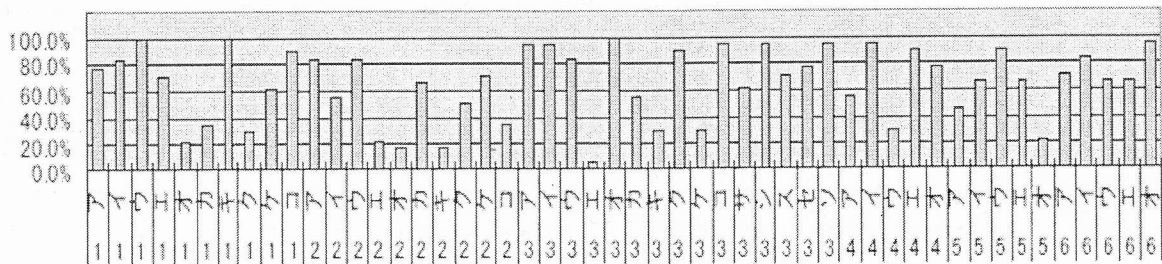
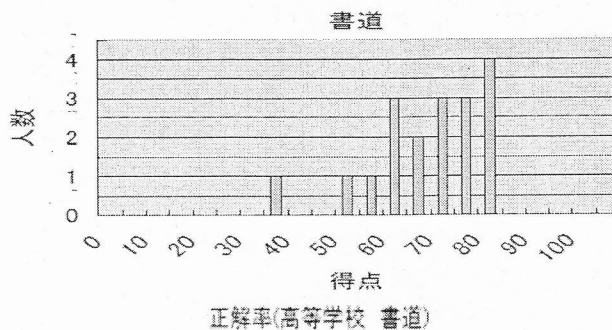
② 正解率の高かった問題

- 第1問1 (3) の平仮名「ろ」の字源を答える問題 (100%)
- 第1問2 (2) の用筆に関する問題 (100%)
- 第3問1 エの図版で示された「封」に使われた文字を答える問題 (100%)

(4) その他

最後の問いまで全員が応答している。

[参考]



## 1 5 保健体育（中学校・高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 競技の用語に関する問題
- 第2問 競技に関するルールを問う問題
- 第3問 運動技能における技能ポイントが適切であるかを問う問題
- 第4問 体育理論に関する問題
- 第5問 教科保健に関する問題
- 第6問 学習指導要領及び学習指導要領解説の内容に関する問題

(2) 得点分布より

得点率	中学校	高等学校	全 体
7割以上	8.5%	27.0%	20.9%
7割未満～5割以上	61.7%	44.4%	50.9%
5割未満	29.8%	28.6%	28.2%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%

得点率7割以上であった者は全体の20.9%、5割未満であった者は全体の28.2%であった。

保健体育においては、学習指導要領に記載されている運動種目に関わる知識や体育理論、保健に関する知識等、幅広い分野の知識が要求されるため、知識量の差が得点の差につながったと考えられる。

校種別に見ると、高等学校は、得点率7割以上であった者が27.0%あったのに対し、中学校では8.5%と、高等学校に比べ3分の1近くの割合になっている。

中学校平均点55.3点、高等学校59.7点。

(3) 正解率より

正解率	中学校	高等学校	平 均
80%以上の問題	16.7%	19.0%	17.8%
50%未満の問題	42.9%	38.1%	40.5%

正解率が50%未満の問題が全体の40.5%であった。問題構成別にみると、「競技の用語に関する問題」「競技に関するルールを問う問題」「学習指導要領及び学習指導要領解説の内容に関する問題」に正解率50%未満の問題が多くみられる。

競技の用語やルールに関する問題は、出題範囲も広く、ルール等も頻繁に改正されるなどの難しさもあるが、保健体育の指導者としては、常にアンテナを広げ、最新の知識を身に付けることが必要なことである。

また、学習指導要領及び学習指導要領解説に関しては、教員として必要な知識であり、しっかりとした理解が求められる。

① 正解率の低かった問題

	中学校	高等学校
第1問	<p>4 サッカーの競技場に関する説明文から正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p> <p>6 ラグビーに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>7 バドミントンに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>8 ソフトボールに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>9 柔道に関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>10 フォークダンスに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p>	<p>6 ラグビーに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>7 バドミントンに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>8 ソフトボールに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p> <p>10 フォークダンスに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p>
第2問	<p>ア 陸上競技の走り高跳びの試技回数表から1位を選ぶ問題</p> <p>イ 陸上競技の砲丸投げにおける、砲丸の着地地点から有効試技を選ぶ問題</p> <p>ウ 競泳競技の個人メドレーにおける2番目の泳法を問う問題</p> <p>エ 競泳競技の公認されている自由形の競技種目の数を問う問題</p> <p>ケ バドミンントンの試合におけるルールに関する問題</p>	<p>イ 陸上競技の砲丸投げにおける、砲丸の着地地点から有効試技を選ぶ問題</p> <p>エ 競泳競技の公認されている自由形の競技種目の数を問う問題</p> <p>コ ソフトボールの試合におけるルールに関する問題</p>
第3問	<p>1 陸上競技におけるハードル走の技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題</p>	<p>1 陸上競技におけるハードル走の技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題</p> <p>5 柔道における内股の技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題</p>
第4問	<p>4 オープン・スキルとクローズド・スキルに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p>	<p>4 オープン・スキルとクローズド・スキルに関する説明文から正しくない文を選ぶ問題</p>
第5問	<p>1 (2) 小脳の働きについて正しいものを選ぶ問題</p>	<p>1 (2) 小脳の働きについて正しいものを選ぶ問題</p>
第6問	<p>1 学習指導要領解説に記された文章を整える問題</p> <p>2 学習指導要領解説に記された文章を整える問題</p> <p>3 学習指導要領及び学習指導要領解説における陸上競技に関する記述について、正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p> <p>4 学習指導要領及び学習指導要領解説における球技に関する記述について、正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p>	<p>1 学習指導要領解説に記された文章を整える問題</p> <p>2 学習指導要領解説に記された文章を整える問題</p> <p>3 学習指導要領及び学習指導要領解説における陸上競技に関する記述について、正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p> <p>4 学習指導要領及び学習指導要領解説における球技に関する記述について、正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p> <p>5 学習指導要領及び学習指導要領解説における体育理論に関する記述について、正しい文の組み合わせを選ぶ問題</p>

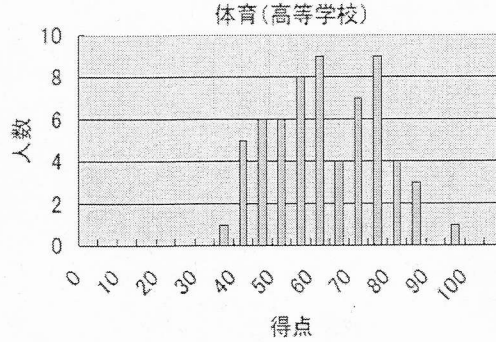
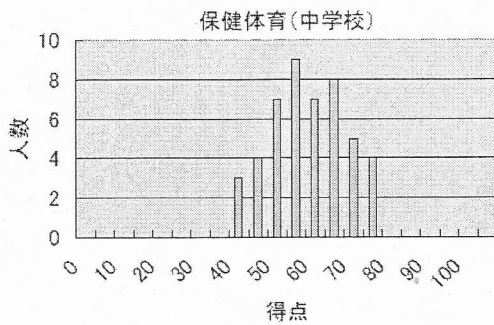
② 正解率の高かった問題

	中学校	高等学校
第1問	3 跳び箱運動の正しい技名を選ぶ問題	5 剣道の用具における名称の正しい組み合わせを選ぶ問題
第3問	2 水泳におけるバタフライの技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題 4 球技バレーボールにおけるオーバーハンドパスの技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題	2 水泳におけるバタフライの技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題 4 球技バレーボールにおけるオーバーハンドパスの技能ポイントの説明において適切でないものを選ぶ問題
第4問	1 体ほぐし運動の行い方について正しくない文を選ぶ問題 3 総合型地域スポーツクラブの運営内容について正しくない文を選ぶ問題	1 体ほぐし運動の行い方について正しくない文を選ぶ問題 3 総合型地域スポーツクラブの運営内容について正しくない文を選ぶ問題
第5問	1 (3) 飲酒における体への影響について、文中の枠のなかに該当する語句を選ぶ問題 1 (5) 感染症について述べた文中の枠のなかに該当する語句を選ぶ問題	1 (3) 飲酒における体への影響について、文中の枠のなかに該当する語句を選ぶ問題 1 (5) 感染症について述べた文中の枠のなかに該当する語句を選ぶ問題 2 (1) 高齢者のための社会的取組について用語と説明の組み合わせの正しいものを選ぶ問題

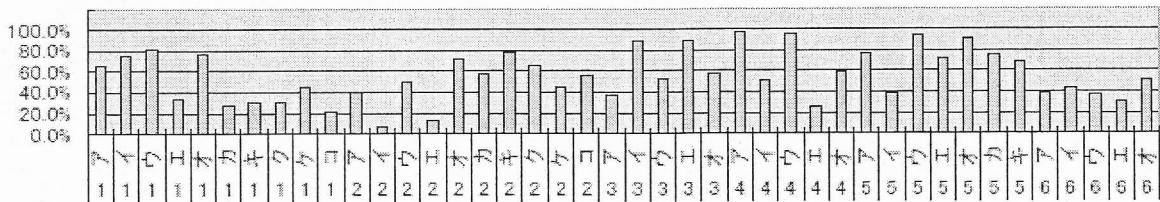
(4) その他

極端に難易度は高くないと思われ、時間の不足はなかったと考える。

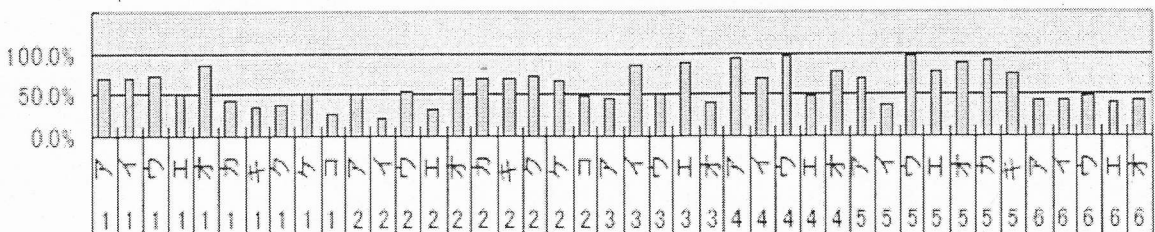
[参考]



正解率(中学校 保健体育)



正解率(高等学校 保健体育)



## 1 6 技術 (中学校)

- (1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)
- |     |               |     |                 |
|-----|---------------|-----|-----------------|
| 第1問 | 学習指導要領に関する問題  | 第2問 | 技術とものづくりに関する問題  |
| 第3問 | エネルギー変換に関する問題 | 第4問 | 作物の栽培に関する問題     |
| 第5問 | 環境に関する問題      | 第6問 | 情報とコンピュータに関する問題 |

(2) 得点分布より

得点率8割以上であった者の割合は全体の59%、6割未満であった者は10%であった。多くの受講者は技術分野に関する基礎的な知識の習得、理解が十分なされたとと思われる。

平均点80.5点

(3) 正解率より

正解率60%未満の問題が全体の約19%あるが、問題別にみた場合、特定の領域に偏っているという傾向は見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第1問1の技術分野の内容構成を答える問題 (50%)
- 第1問4の新学習指導要領の内容を答える問題 (40%)
- 第2問5の木製品の構造を答える問題 (40%)
- 第3問2の力の伝達について答える問題 (50%)
- 第3問3の電気製品を製作する際の材料や配線を答える問題 (50%)
- 第4問2の栽培に適した土づくりを答える問題 (50%)

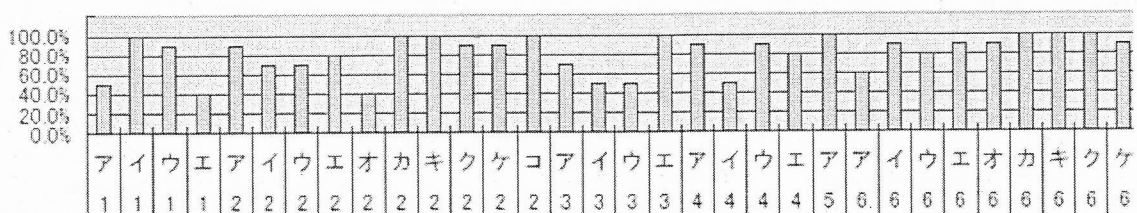
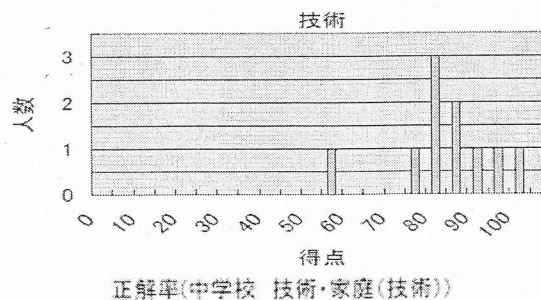
② 正解率の高かった問題

- 第1問2の現行学習指導要領技術・家庭科の目標を答える問題 (100%)
- 第2問6のものづくりに関する工具を答える問題 (100%)
- 第2問7の作業時の安全について答える問題 (100%)
- 第2問10の電気機器の安全について答える問題 (100%)
- 第3問4の電気機器を安全に使う方法を答える問題 (100%)
- 第5問の環境にやさしいものづくりについて答える問題 (100%)
- 第6問6のネットワーク社会の安全について答える問題 (100%)
- 第6問7のマルチメディア作品を制作する手順について答える問題 (100%)
- 第6問8の計測・制御に必要な機器について答える問題 (100%)

(4) その他

最後の問いまで全員が応答しており、極端に難易度の高い領域等はなかったものと考えられる。

[その他]





## 17 家庭（中学校・高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 食物に関する問題
  - 1 食事バランスガイドに関する問題
  - 2 食品に関する問題
- 第2問 被服に関する問題
  - 1 繊維に関する問題
  - 2 バイアステープに関する問題
  - 3 縫い代の始末に関する問題
  - 4 型紙の配置に関する問題
  - 5 採寸に関する問題
- 第3問 家計に関する問題
- 第4問 経済、環境に関する問題
- 第5問 家族、保育に関する問題
- 第6問 学習指導要領に関する問題

(2) 得点分布より

中学校では、得点率7割以上であった者の割合は全体の57%、得点率5割未満であった者はなかった。

高等学校では、得点率7割以上であった者の割合は全体の85%、得点率5割未満であった者は5%であった。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題は、中学校・高等学校ともに約14%であった。

① 正解率の低かった問題

中学校

- 第2問1(3)の合成繊維の種類を問う問題(28.6%)
- 第2問5(1)の採寸方法から採寸箇所を問う問題(28.6%)
- 第3問(4)の非消費支出の項目を問う問題(28.6%)
- 第4問1の循環型社会形成推進基本法を問う問題(14.3%)
- 第4問2のグリーン購入法を問う問題(14.3%)

高等学校

- 第1問2(2)のアントシアンがアルカリ性で示す色を問う問題(45%)
- 第2問5(1)の採寸方法から採寸箇所を問う問題(40%)
- 第2問5(2)の採寸方法から採寸箇所を問う問題(15%)
- 第4問1の循環型社会形成推進基本法を問う問題(45%)
- 第4問2のグリーン購入法を問う問題(15%)

② 正解率の高かった問題

中学校

- 第1問1(4)の食事バランスガイドの料理区分を問う問題(100%)
- 第1問2(1)の緑黄色野菜に含まれるカロテンの量を問う問題(100%)
- 第2問1(2)の合成繊維の種類を問う問題(100%)
- 第3問(1)の実収入に該当する項目を問う問題(100%)
- 第3問(3)の消費支出に該当する項目を問う問題(100%)
- 第4問3の製造物責任法を問う問題(100%)
- 第5問2の原始反射について問う問題(100%)

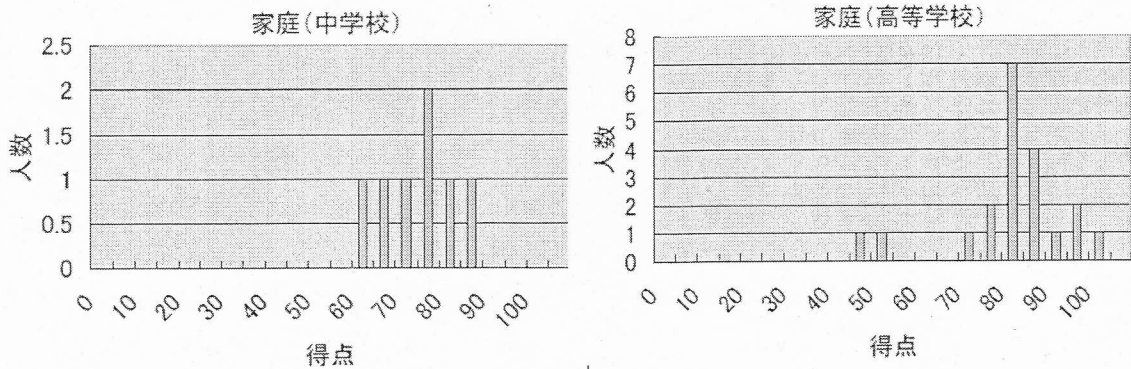
高等学校

- 第1問1 (2) 食事バランスガイドのイラストについて問う問題 (100%)
- 第1問1 (4) の食事バランスガイドの料理区分を問う問題 (100%)
- 第2問1 (1) の植物繊維の種類を問う問題 (100%)
- 第2問4の型紙の配置について問う問題 (100%)
- 第3問 (1) の実収入に該当する項目を問う問題 (100%)
- 第3問 (3) の消費支出に該当する項目を問う問題 (100%)
- 第6問 (1) の学習指導要領について問う問題 (100%)

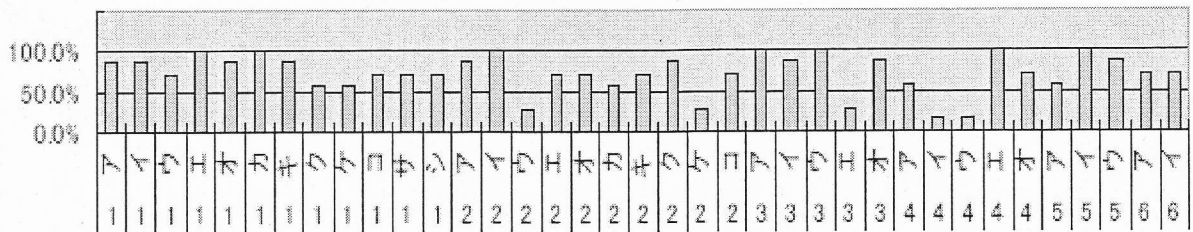
(4) その他

すべての問題を全員が回答している。

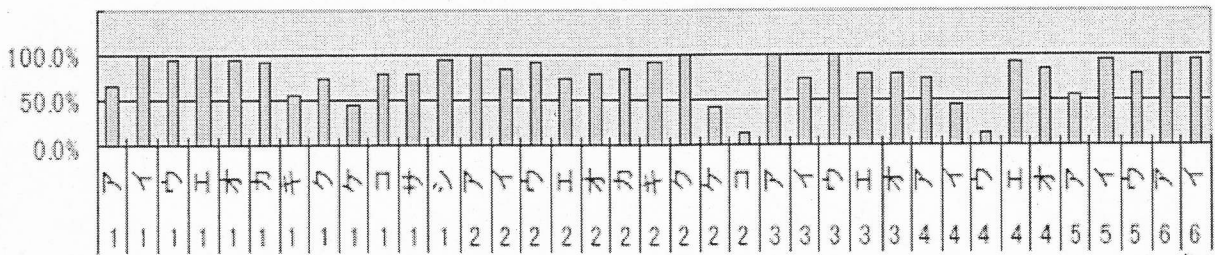
[参考]



正解率(中学校 技術・家庭(家庭))



正解率(高等学校 家庭)



## 18 英語（中学校・高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 リスニング問題
- 第2問 語彙・文法問題
- 第3問 英語教育用語に関する問題
- 第4問 300語程度の教育に関する長文読解問題
- 第5問 600語程度の教育に関する長文読解問題

(2) 得点分布より

得点率7割以上であった者の割合は中学で25%、高校で約29%。得点率5割未満であった者は中学で35%、高校では16%であった。

中学校平均点56.9点、高等学校平均点64.6点

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題は全体の約30%である。問題別にみた場合、リスニング問題では、50%を下回った問題はない。また、特定の領域に偏って正解率が低いという傾向も見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第2問 1 (1) 英文の空所に入る適切な語彙を選ぶ問題 (24.5%)
- 第1問 (3) 英文の空所に入る適切な語彙を選ぶ問題 (17.9%)
- 第2問 2 (1) パラグラフの中の英文を語彙整序で完成させる問題 (10.4%)
- 第3問 (2) 英語音声学に関する説明文を読んで、その用語を選ぶ問題 (25.5%)

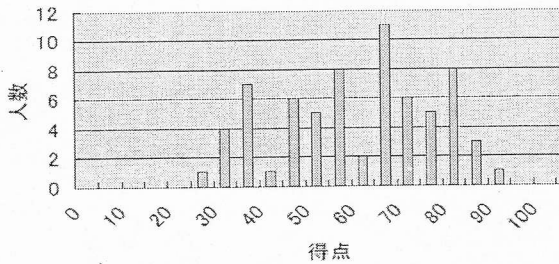
② 正解率の高かった問題

リスニングは総じて正解率が高いが、中でも(4)、(5)の2人の会話の内容を聞き取る問題では、共に90%を超える正解率だった。

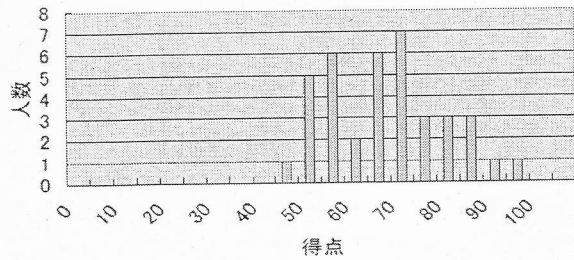
(4) その他

どの領域も大きな偏りなく応答できており、極端に難易度の高い領域や時間の不足はなかったものと考えられる。

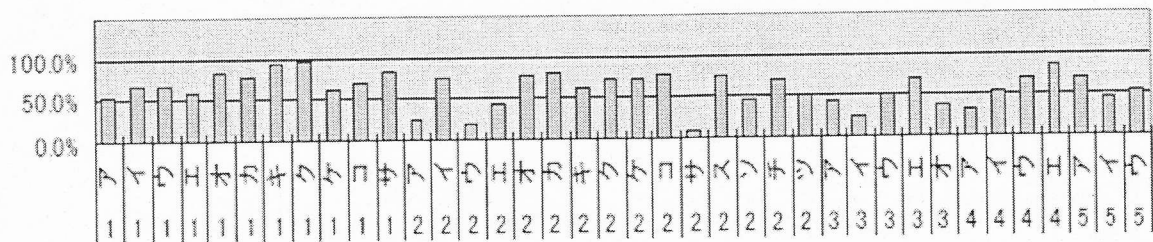
英語(中学校)



高校(英語)



正解率(中学校・高等学校 英語)



## 19 工業（機械）（高等学校）

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問1 微分に関する問題
- 2 積分に関する問題
- 3 フローチャートに関する問題
- 第2問1 重心に関する問題
- 2 摩擦に関する問題
- 3 ねじりを受ける部材の強さに関する問題
- 4 曲げを受ける部材の強さに関する問題
- 第3問1 硬さ試験に関する問題
- 2 引張試験に関する問題
- 3 NCプログラムに関する問題
- 第4問1 パスカルの定理に関する問題
- 2 ベルヌーイの定理に関する問題
- 3 内燃機関に関する問題
- 4 熱力学に関する問題
- 第5問1 直流回路に関する問題
- 2 磁気に関する問題
- 3 交流回路に関する問題
- 4 論理回路に関する問題
- 第6問1 投影図に関する問題
- 2 製図記号に関する問題

(2) 得点分布より

得点率5割以上であった者の割合は全体の18%である。得点率7割以上の者はいない。

平均点34.0点。

(3) 正解率より

正解率50%を下まわった問題が全体の約66%ある。特に第2問の機械設計の分野は正解率が低い。

① 正解率の低かった問題

- 第1問1 関数の微分係数を答える問題 (18.2%)
- 第2問2 摩擦が生じる物体に作用する力を答える問題 (0%)
- 第2問3 (1) 中空軸のねじり応力を答える問題 (0%)
- 第2問3 (2) ねじり応力から軸の大きさを答える問題 (0%)
- 第2問3 (3) 極断面係数から軸の断面積を答える問題 (0%)
- 第2問4 (2) 片持ばりに生じる最大曲げ応力を答える問題 (9.1%)
- 第2問4 (3) 片持ばりに生じる最大せん断応力を答える問題 (0%)
- 第4問4 (1) 熱交換による水の温度を答える問題 (9.1%)
- 第4問4 (2) 熱交換による水の温度を答える問題 (0%)

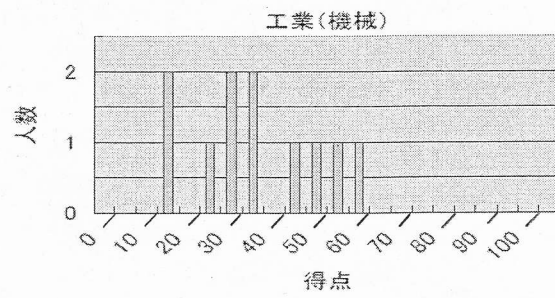
② 正解率の高かった問題

- 第3問3 (1) ③ NCプログラムにおいて座標値を答える問題 (72.7%)
- 第5問1 (1) 直流回路において合成抵抗を答える問題 (72.7%)
- 第5問4 (1) 論理回路の出力を答える問題 (72.7%)
- 第5問4 (2) 論理回路の出力を答える問題 (81.8%)
- 第6問1 第三角法で書かれた投影図を答える問題 (100%)

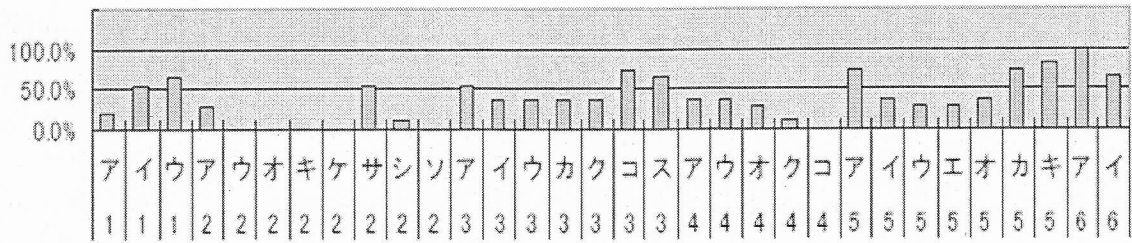
(4) その他

第2問機械設計に関する問題と第4問4熱力学の問題の応答率が低い。

[参考]



正解率(高等学校 工業(機械))



## 20 工業（建築）（高等学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問1 微分に関する問題
- 2 積分に関する問題
- 3 フローチャートに関する問題
- 第2問1 建築物の環境に関する問題
- 2 伝熱に関する問題
- 3 住宅の計画に関する問題
- 4 空調設備及び換気設備に関する問題
- 第3問1 建築物の構造の規定に関する問題
- 2 木造建築の構造耐力に関する問題の計算に関する問題
- 3 建築に関する法規
- 4 建築面積の最大限を求める問題（数値選択式）
- 第4問1 建築用木材に関する問題
- 2 木材軸組に関する問題
- 3 コンクリートに関する問題
- 4 鋼材の接合に関する問題
- 第5問1 仮設工事に関する問題
- 2 地業工事に関する問題
- 3 鉄筋工事に関する問題
- 4 表面仕上げの工事に関する問題
- 第6問1 構造物の状態を問う問題
- 2 単純ばりに生じる最大曲げモーメントについての問題

(2) 得点分布より

5割以下の得点であった者の割合が約9割あった。

平均点29.3点。

(3) 正解率より

① 正解率の低かった問題

- 第1問1 微分に関する問題(12.5%)
- 第2問2 伝熱に関する問題(25.0%)
- 第2問3 住宅の計画に関する問題(12.5%)
- 第2問4 空調設備及び換気設備に関する問題(0.0%)
- 第3問1 建築物の構造の規定に関する問題(0.0%)
- 第3問2 木造建築の構造耐力に関する問題の計算に関する問題(25.5%)
- 第3問3 建築に関する法規(0.0%)
- 第3問4 建築面積の最大限を求める問題（数値選択式）(12.5%)
- 第5問1 仮設工事に関する問題(12.5%)
- 第5問3 鉄筋工事に関する問題(12.5%)
- 第5問4 表面仕上げの工事に関する問題(0.0%)

② 正解率の高かった問題

- 第4問3 コンクリートに関する問題(87.5%)

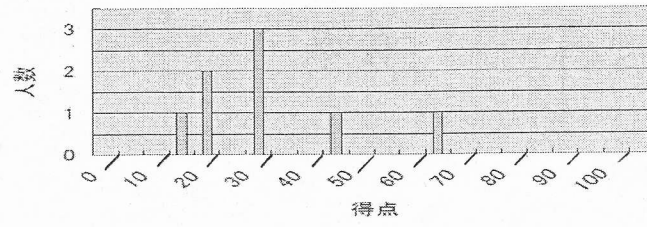
(4) その他

第2問4に誤答のbと答えた者とeと答えた者の合計は全体の75%であった。

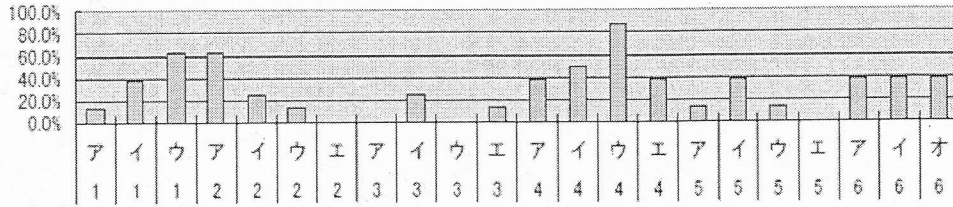
第5問4に誤答のdと答えた者とeと答えた者の合計は全体の75%であった。

[参考]

工業(建築)



正解率(高等学校 工業(建築))



## 2 1 商業（高等学校）

(1) 問題構成 (審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載)

- 第1問1 高等学校学習指導要領 商業の学習分野に関する問題
- 2 電子商取引に関する問題
- 3 広告に関する問題
- 4 価格に関する問題
- 第2問1 商取引に用いられる英単語の問題
- 2 金銭の貸借契約に関する問題
- 第3問1 ビジネスと情報通信ネットワークに関する問題
- 2 情報モラルとセキュリティ管理に関する問題
- 第4問 仕訳に関する問題
- 第5問 高等学校学習指導要領に関する問題

(2) 得点分布より

得点率8割以上であったものの割合は全体の41%、得点率5割未満であった者は全体の10%であった。  
平均点72.7点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の20%あるが、問題別に見た場合、特定の領域に偏っているという傾向は見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第4問(ク) 社債の買入償還に関する仕訳問題 (31%)
- 第1問(キ) マスコミ媒体が報道や記事として取り上げる広告に関する問題 (35%)
- 第5問(イ) 商業の科目「課題研究」の目標に関する問題 (38%)
- 第1問(ク) コミュニケーション活動に関する問題。(41%)

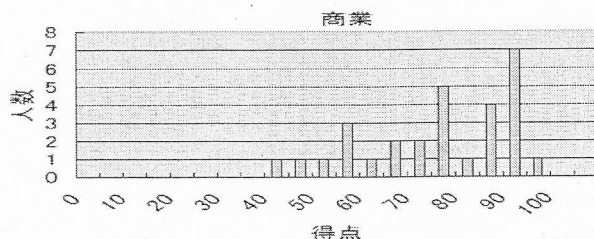
② 正解率の高かった問題

- 第2問(キ) 当事者間で利率を決めなかった金銭貸借の利率に関する問題 (100%)
- 第5問(オ) 商業の各科目にわたる指導計画に関する問題 (100%)
- 第2問(カ) 当事者間で利率を決めた金銭貸借の利率に関する問題 (97%)
- 第5問(エ) 商業の各科目にわたる指導計画に関する問題 (97%)
- 第4問(カ) 約束手形の支払期日延期に関する仕訳問題 (93%)

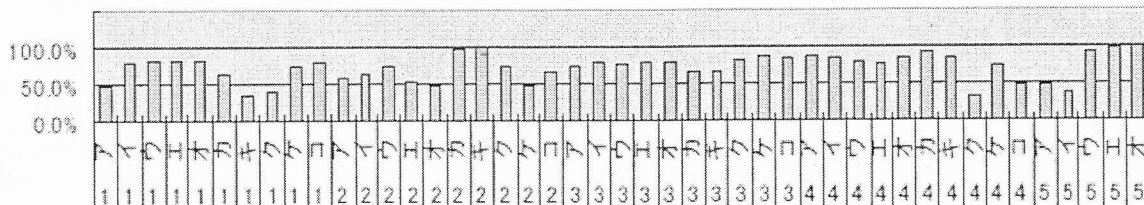
(4) その他

最後の問まで全員が応答している。

[参考]



正解率(高等学校 商業)





## 2 2 養護教諭（小学校・中学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 健康診断に関する問題
- 第2問 学校環境衛生に関する問題
- 第3問 学校保健における現代的な健康課題に関する問題等
- 第4問
  - 1 解剖図
  - 2 学校保健の領域・内容について
  - 3 心身症及びその関連疾患について

(2) 得点分布より

得点の9割以上であった者の割合は全体の約25%、得点率5割未満であった者は全体の約5%であった。

平均点78.1点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題が全体の約7%であるが、特定の領域に偏っている傾向は見られない。

① 正解率の低かった問題

- 第3問 ク 学校病の正しい組み合わせについて答える問題（42.5%）
- ケ 心肺蘇生の説明文で誤りがある文章について答える問題（31.5%）

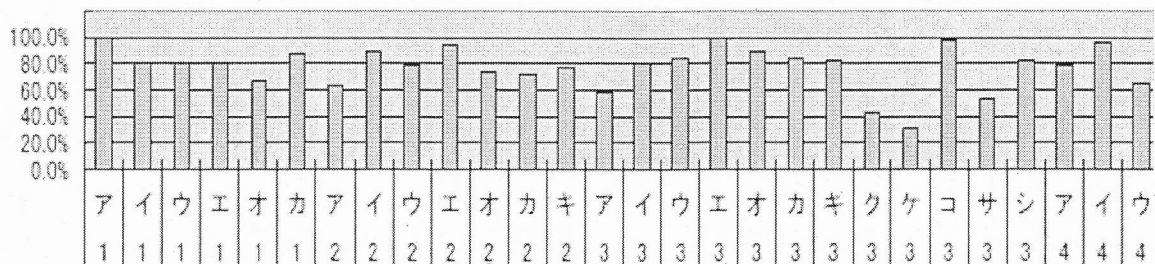
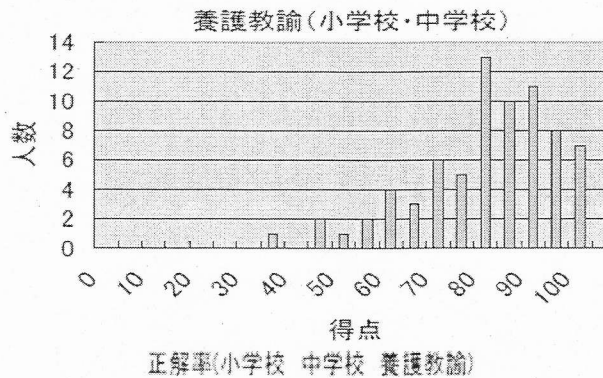
② 正解率の高かった問題

- 第1問 ア 健康診断の検査項目について答える問題（98.6%）
- 第2問 エ RICEの説明文で誤りがある文章について答える問題（98.6%）
- 第3問 コ AEDを用いた心肺蘇生の流れについて答える問題（97.3%）

(4) その他

最後の問まで全員が応答している。

[参考]



## 2.3 栄養教諭（小学校・中学校）

(1) 問題構成（審査問題は高知県教育委員会事務局教育政策課ホームページに掲載）

- 第1問 食と健康に関する法や制度に関する問題
- 第2問 学校給食の管理に関する問題
- 第3問 健康と栄養指導に関する問題
- 第4問 食に関する指導に関する問題

(2) 得点分布より

得点率8割以上であった者の割合は全体の65%、得点率8割未満であった者は全体の35%であった。

平均点79.7点。

(3) 正解率より

正解率50%を下回った問題は全体の約10%である。

① 正解率の低かった問題

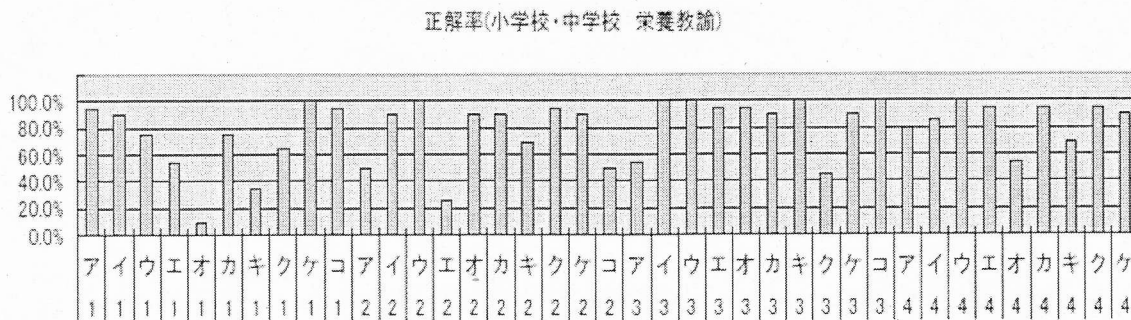
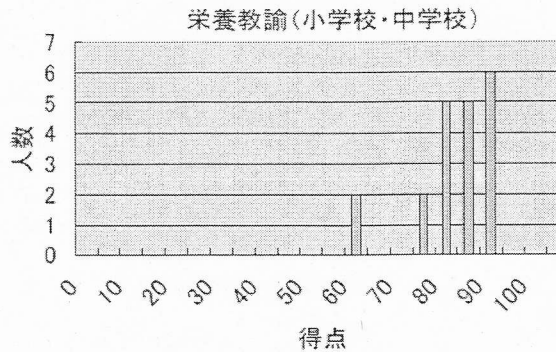
- 第1問 5 学校給食実施状況調査における高知県に関する問題（10.0%）
- 第1問 7 高知県食育推進計画の「取組の目標」に関する問題（35.0%）
- 第2問 4 最近の学校給食における食中毒の傾向と対策に関する問題（25.0%）
- 第3問 8 炭水化物の消化に関する問題（45.0%）

② 正解率の高かった問題

- 第1問 8 学校保健法第3条2に関する問題（100%）
- 第2問 3 学校給食衛生管理の基準（調理過程）に関する問題（100%）
- 第3問 2 学童期の栄養指導に関する問題（100%）
- 第3問 3 偏食の防止に関する問題（100%）
- 第3問 7 スポーツ栄養に関する問題（100%）
- 第3問 10 体格指数に関する問題（100%）
- 第4問 3 地産地消に関する問題（100%）

(4) その他

全問題を全員が回答している。



## 平成21年度 第1次審査集団討論について

### 1 平成21年度集団討論の課題

- (1) 「子どもたちの学力や学習環境を保障するための学力向上対策はどうあるべきか」 討論してください。
- (2) 「少子高齢化や過疎化が、学校行事や社会教育活動の実施に影響を与える中、地域を活性化させるための地域と学校との連携はどうあるべきか」 討論してください。
- (3) 「朝食を必ず食べるなどの生活習慣の中に、家庭学習を定着させるための方策はどうあるべきか」 討論してください。
- (4) 「子どもがインターネット上の有害な情報に携帯電話からアクセスし、犯罪に巻き込まれるケースが発生している中、子どもたちを有害な情報から守るための対策はどうあるべきか」 討論してください。
- (5) 「子どもたちに、国際社会に貢献できる能力を育成するための学校教育はどうあるべきか」 討論してください。
- (6) 「子どもたちが、自ら将来を切り開くための職業体験はどうあるべきか」 討論してください。

### 2 集団討論の評定項目及び着眼点

評定項目	着 眼 点
社会性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広い視野をもっているか</li><li>・ 客観的なものの見方ができるか</li><li>・ 社会の動きに広く関心を持ち、相応の理解をしているか</li></ul>
協調性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 協力して、うまくやっていけるか</li><li>・ ものの見方、考え方が独善的でないか</li><li>・ 自己本位の感情が強くないか</li></ul>
積極性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 率先してやろうとする意欲があるか</li><li>・ 意見や考え方を進んで述べられるか</li><li>・ 自ら行動に移そうとする姿勢があるか</li></ul>
表現力	<ul style="list-style-type: none"><li>・ わかりやすく、簡潔に表現できるか</li><li>・ 質問に対して、的確に答えているか</li><li>・ 話の筋道が通っているか</li></ul>

### 3 集団討論の状況

受審者10人程度が、課題について討論を行います。

グループによって、課題の受け取り方、討論の方向に違いが出てきます。

討論がどのような展開になっても、自分の意見をしっかり持って、討論の流れを考慮した発言が望まれます。また、自分以外の人の意見も尊重する態度は大切です。

## 平成21年度 第1次審査個別面接審査について

### 1 個別面接の評定項目及び着眼点

評 定 項 目		面 接 審 査 の 着 眼 点
基本的資質	教職についての基礎的な理解や資質を持っているか	① 教職に就く目的意識が明らかであるか。 ② 子どもたちの成長の手助けという基本認識があるか。 ③ 子どもたちを温かく包みこむ心や慈しむ気持ちがあるか。
社会性	社会の動きに広く関心があるか 社会的常識が身についているか	① 広い視野をもっているか。 ② 客観的なものの見方ができるか。 ③ 社会の動きに広く関心を持ち、相応の理解をしているか。
協調性	組織の一員として協調してやっているか	① 協力して、うまくやっていけるか。 ② ものの見方、考え方が独善的でないか。 ③ 自己本位の感情が強くないか。
積極性	物事に積極的に取り組む意欲があるか	① 率先してやろうとする意欲があるか。 ② 意見や考え方を進んで述べられるか。 ③ 自ら行動に移そうとする姿勢があるか。
表現力	自分の考えを正しく簡潔明瞭に発表できるか	① 分かりやすく、簡潔に表現できるか。 ② 質問に対して、的確に答えているか。 ③ 話の筋道が通っているか。
堅実性	責任感が強く安心して仕事が任せられるか	① 誠実で、責任感が強く、信頼できるか。 ② 忍耐力があり、しっかりしているか。 ③ 集中力が見られるか。

### 2 総合判定

6段階での評定を行っている。

- 6：特に優れている
- 5：優れている
- 4：良好（＋）
- 3：良好（－）
- 2：やや劣っている
- 1：劣っている

### 3 総評（評価コメント）例

〈良い内容〉

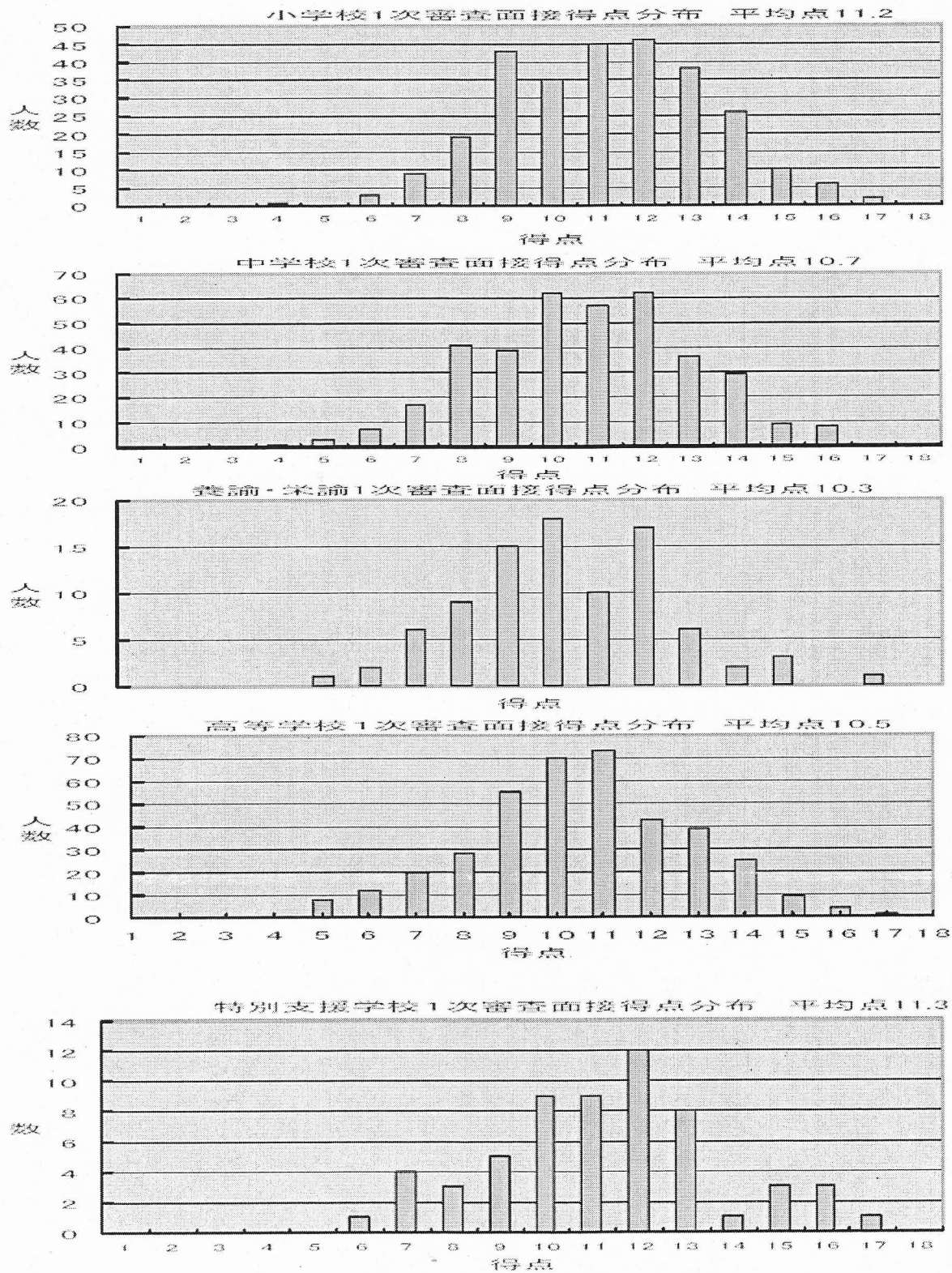
高知県の学力の状況をわかったうえで、何とかしてやろうという意欲がある。教員になろうとする目的意識を自分なりに整理し、明らかにできている。生徒に対する温かい気持ちが伝わってくる。特別な支援の必要な子どもたちに対する理解がある。他者と関わりながらチームで課題を解決しようという姿勢が伺われる。堅実性、信頼感がある。自分の子どもに教えて欲しい人物。

〈工夫・改善が欲しい内容〉

部活動について熱心に取り組んでいるが、教科でのアピールも欲しい。社会の動きに対する関心をもっと持ってほしい。

# 平成21年度 第1次審査個別面接審査の概況

## 1 校種別得点分布

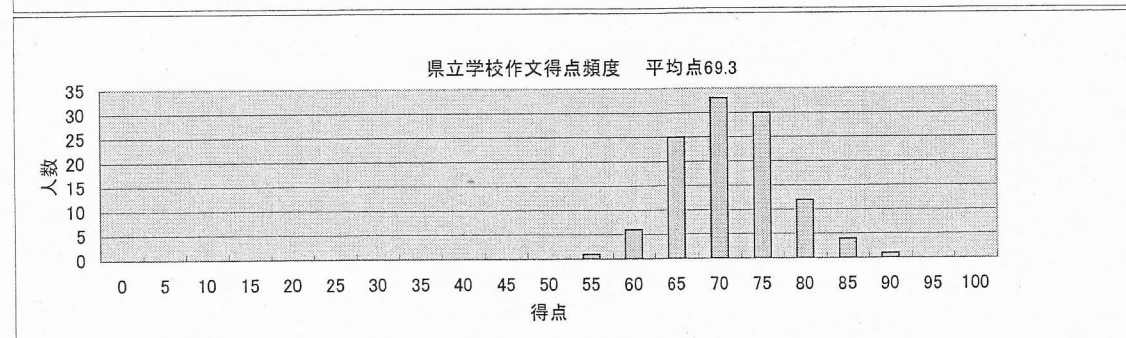
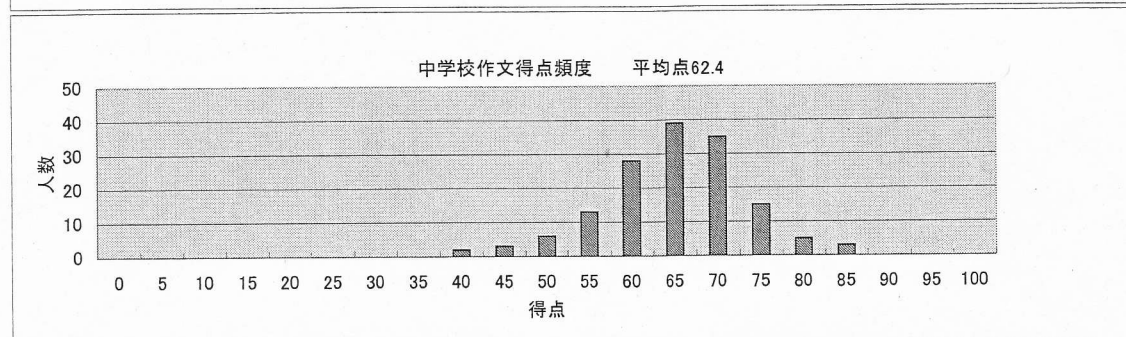
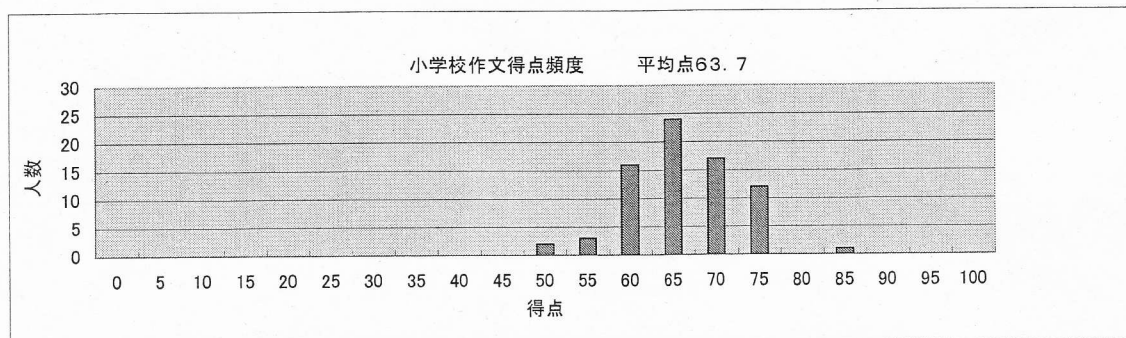


## 2 個別面接の状況

## 平成21年度 第2次審査作文審査について

- 1 実施時間 60分間
- 2 記述要領 横書き 本文は句読点を含めて800字以内
- 3 本年度のテーマ 「自ら学ぶ」をテーマに、あなたの経験をふまえ、考えを述べてください。
- 4 評定項目及び評定尺度

評定項目	評 定 尺 度
1 作文能力	○しっかりとした文章で、丁寧に、はっきりと書かれているか。 【句読点の誤用や常体・敬体の混用】
	○誤字・脱字があるか。【なし・1種類・2種類・3種類・4種類・5種類以上】
	○文章の量は適切か。【750字以上、700字以上、600字以上、500字以上、400字以上、400字未満】
2 着想・ 構想・ 論理性	○出題の意図を正しく捉え、主題に沿った内容で、まとまりのある文章となっているか。
	○根拠となる体験等が記述され、効果的に論じられているか。
	○論理的で、論旨がまとまっているか。
3 職業観 及び 教育観	○教員という専門職として、教育に対する適切な認識や熱意が窺える文章となっているか。
	○他人を思いやる気持ちや包容力（子どもに寄り添う姿勢）が窺える文章となっているか。
	○教員としての探究心や向上心が窺える文章となっているか。
4 全 体	○構成がしっかりしており、わかりやすい文章となっているか。
	○他人の文章の引用等ではなく、自分の考えや気持ちが明確に述べられ、納得性があるか。
	○多角的で、広い視野をもっているか。
	○誠実な人柄、堅実な生活態度が表れているか。
	○考え方や見方に偏りがなく、独善的でないか。
	○他の職員と協調する姿勢が感じられるか。



・主題から外れていたり、極端に量が少ない作文は、採点の結果、得点が低くなっています。

## 平成21年度 第2次審査面接審査の評定について

### 1 個別面接の評定項目及び着眼点

評 定 項 目		面 接 審 査 の 着 眼 点
基本的資質	教職についての基礎的な理解や資質を持っているか	① 教職に就く目的意識が明らかであるか。 ② 子どもたちの成長の手助けという基本認識があるか。 ③ 子どもたちを温かく包みこむ心や慈しむ気持ちがあるか。
社会性	社会の動きに広く関心があるか 社会的常識が身についているか	① 広い視野をもっているか。 ② 客観的なものの見方ができるか。 ③ 社会の動きに広く関心を持ち、相応の理解をしているか。
協調性	組織の一員として協調してやっているか	① 協力して、うまくやっていけるか。 ② ものの見方、考え方が独善的でないか。 ③ 自己本位の感情が強くないか。
積極性	物事に積極的に取り組む意欲があるか	① 率先してやろうとする意欲があるか。 ② 意見や考え方を進んで述べられるか。 ③ 自ら行動に移そうとする姿勢があるか。
表現力	自分の考えを正しく簡潔明瞭に発表できるか	① 分かりやすく、簡潔に表現できるか。 ② 質問に対して、的確に答えているか。 ③ 話の筋道が通っているか。
堅実性	責任感が強く安心して仕事任せられるか	① 誠実で、責任感が強く、信頼できるか。 ② 忍耐力があり、しっかりしているか。 ③ 集中力が見られるか。
専門性	関心・意欲・態度	説明、問題の内容を正確に理解して、課題に取り組もうとしているか。
	思考・判断	論理的で、創造性に富んだ説明ができ、話にまとまりがあるか。
	知識・理解	質問に対して、教員として十分な知識があり、理解ができているか。
	技能・表現	専門的な知識を活用し、児童生徒に分かりやすい言葉を使い、説明や指示の仕方を工夫するなど、適切な対応ができているか。

### 2 総合判定

6段階での評定を行っている。

- 6：特に優れている
- 5：優れている
- 4：良好（＋）
- 3：良好（－）
- 2：やや劣っている
- 1：劣っている

## 平成21年度 第2次審査面接審査模擬授業について

### 模擬授業 評価のポイント

- (1) 授業のねらいが適切、明確である。
- (2) 単元や教材の特性を正しく理解している。
- (3) 既習事項との関連をふまえた、授業構成ができています。
- (4) 授業の流れをイメージできており、授業の全体像が窺える授業である。
- (5) 児童生徒を意識し、児童生徒の反応を想定した授業である。
- (6) 作成した教具が効果的に活用されている。
- (7) 児童生徒に対し、分かりやすい説明ができています。
- (8) 板書が見やすく、計画的である。
- (9) 聞き取りやすい話し方である。
- (10) テンポや流れのある動作ができる。
- (11) 適当な間があり、子どもを授業に集中させることができる。
- (12) 学習規律を維持することができる。



## 平成21年度 第2次審査面接審査口頭試問について

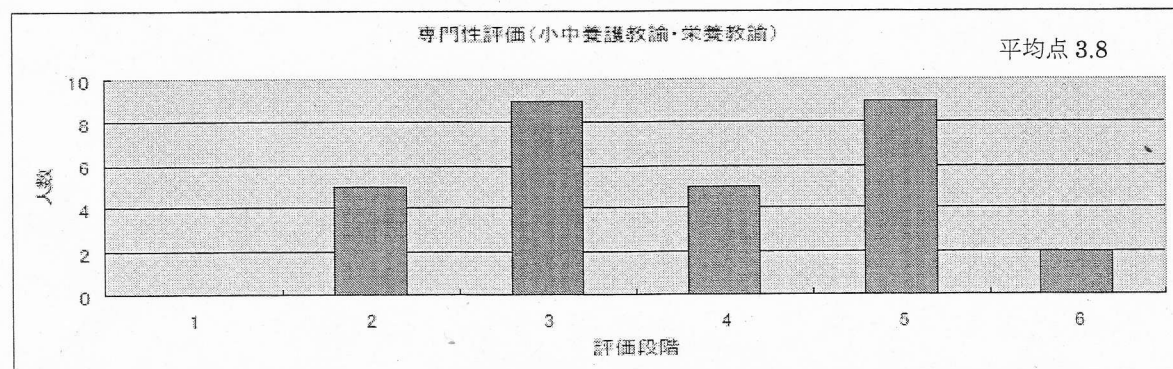
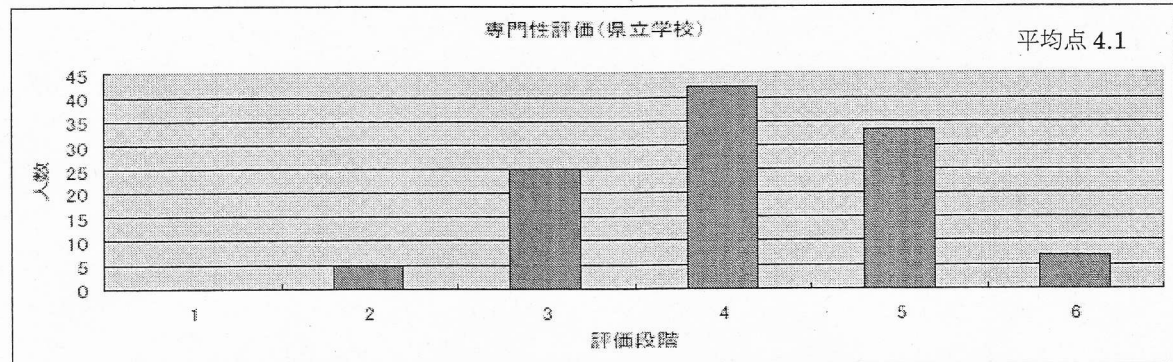
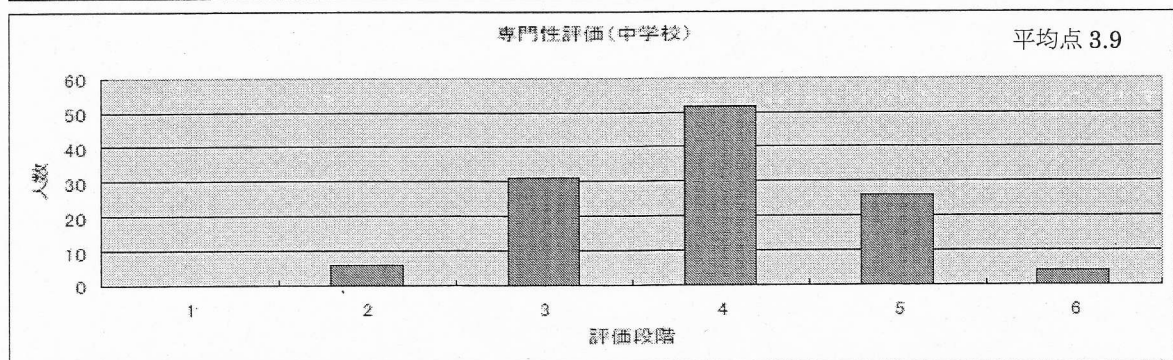
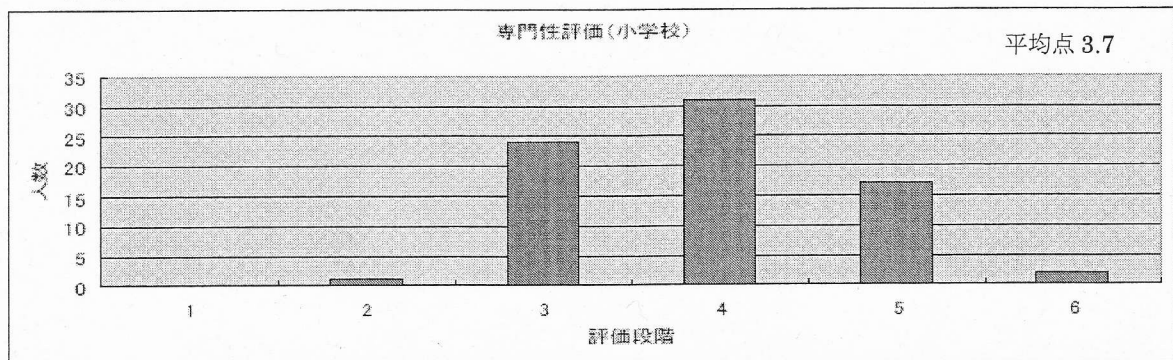
### 口頭試問 評価のポイント

- (1) 模擬授業のねらい、全体像について、具体的に答えることができる。
- (2) 指導方法についての基礎を身につけている。
- (3) 専門領域について、確かな知識を身につけている。
- (4) 専門領域についての知識を、分かりやすく伝えることができる。
- (5) 面接員の質問の意図を的確に捉え、ポイントを押さえた応答ができる。
- (6) 知識をふまえて、具体性のある応答ができる。

# 平成21年度第2次審査個別面接審査の概況

## 平成21年度 第2次審査個別面接（専門性）

### 1 校種別得点分布



### 2 個別面接の状況

## 模擬授業(県教委把握)

### 〈模擬授業の状況〉

- 授業で子どもたちにどんな力を付けたいのか、明確な目標を持っている人がいる。
- 授業の最初に目標を明示した授業ができている人がいる。
- 単元や教材の特性を正しくおさえた授業ができている人がいる。
- 学習内容を生徒が理解しやすいような工夫を適切にしている人がいる。
- 生徒の反応を予測した授業のできる人がいる。
- 受審者の中には学習の目的をしっかりと把握した授業ができている人がいる。
- 受審者の中には高い専門性を身につけている人がいる。

### 〈授業で気をつけて欲しい内容〉

- 多くの指導内容から、焦点を絞り授業の目標を明確にする。
- 展開が本読みが大半を占めたので、ねらいへのつながりを見とることができなかった。
- 授業は落ち着いて展開されたが、導入部分や内容が切り変わるころは、授業にリズムをつけるためにも、子どもたちの心をつかむ技術を身につけて欲しい。
- 演出の方が過剰気味で、本来おさえるべき授業の目的・内容がぼやけていた。

## 口頭試問(県教委把握)

### 〈口頭試問の状況〉

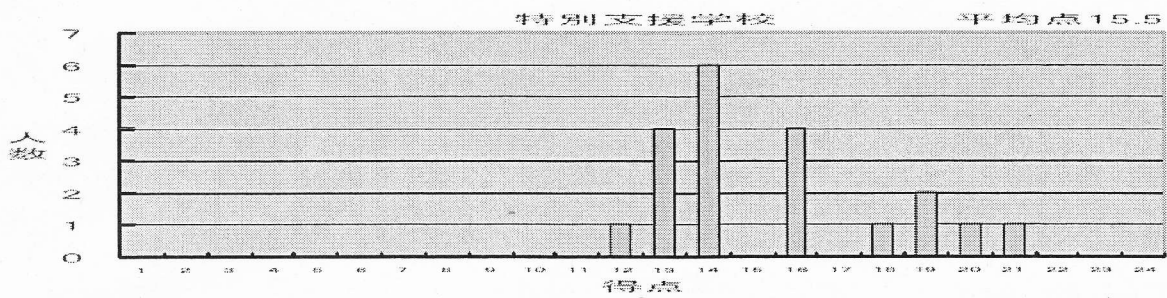
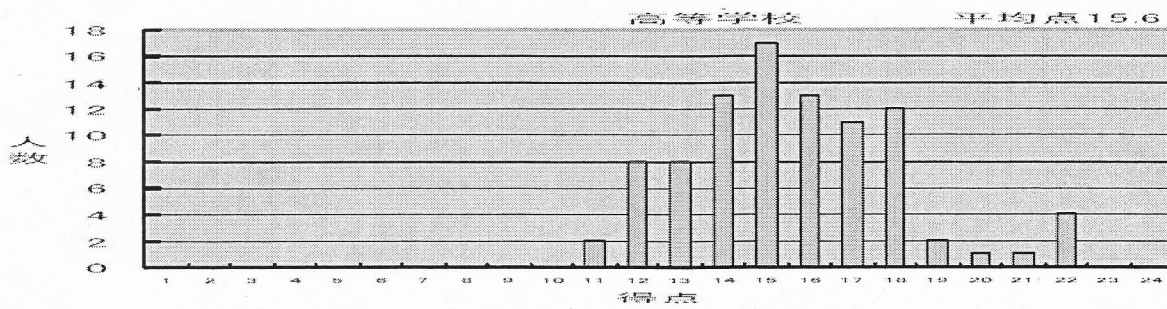
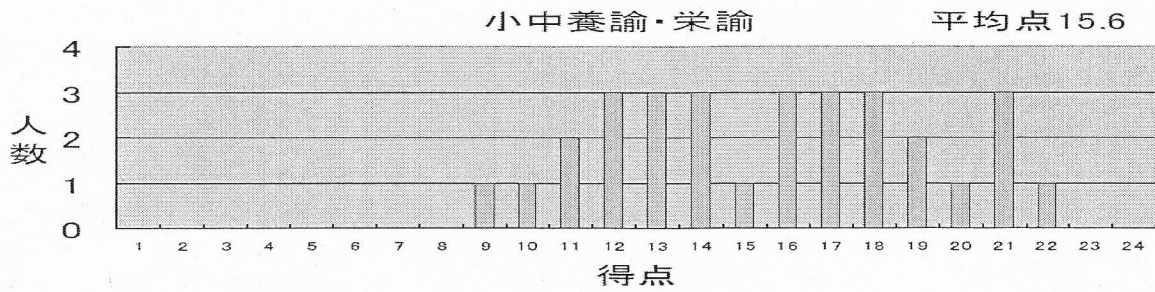
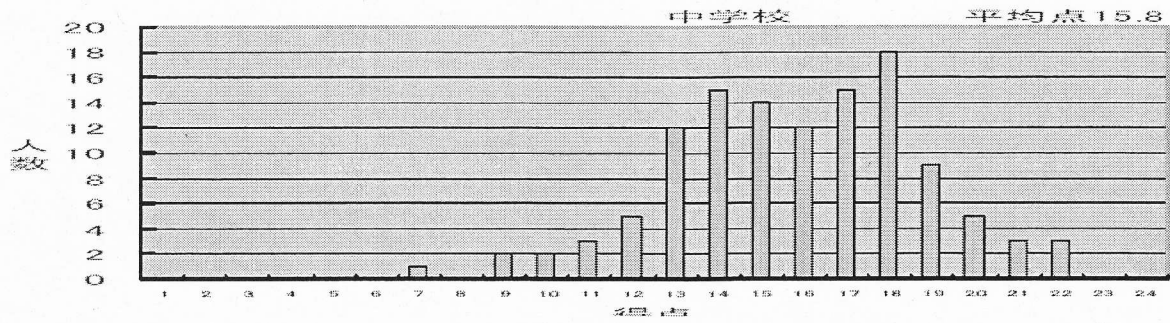
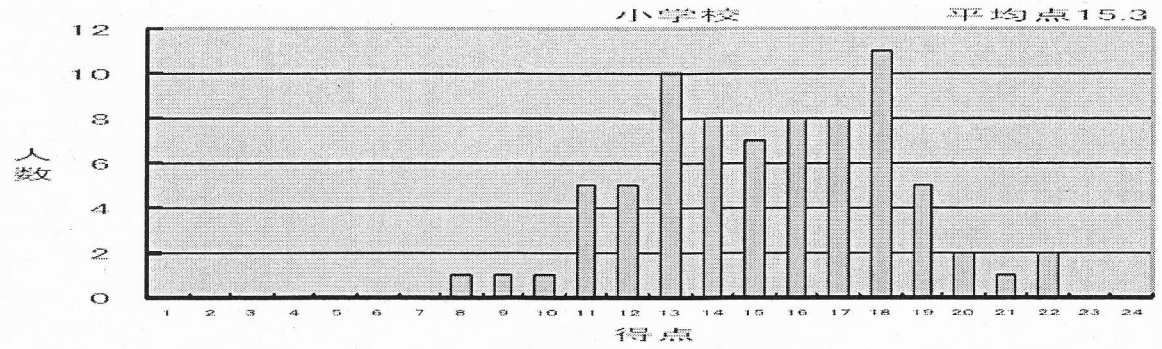
- 質問の意図を的確に捉え、ポイントを押えた応答ができている人がいる。
- 教員としてどのように取り組みたいかを明確にしている人がいる。
- 専門領域や指導方法についての基礎知識をしっかりと身につけている人がいる。
- 子どもに寄り添う姿勢や十分な生徒理解ができている人がいる。
- 様々な見解を踏まえた上で、自分の立場を伝えることができる人がいる。

### 〈口頭試問で気をつけて欲しい内容〉

- 教育課程や教材指導についての知識・理解を学んでいない人がいた。
- 自分の思いばかりが先行し、質問に対する答えが、簡潔、明瞭でない人がいた。
- 専門領域の知識・技術等を確認したいのに、単に自分のやり方を答える人がいた。
- 自分の行った模擬授業の意図やねらい、展開について、後で答えられない人がいた。

平成21年度 第2次審査個別面接（総合）

1 校種別得点分布



## 2 個別面接の状況（県教委把握）

### 〈良い内容〉

受審者の教職に対する使命感、責任感を強く感じます。  
教職への強い目的意識が感じられました。  
教育に対するしっかりとした信念を持っていることが伝わってきました。  
生徒との信頼関係について、しっかりと考えていることが感じられました。  
生徒への思いやりの姿勢が伝わってきました。  
学校と家庭との連携の大切さを認識していることが感じられました。  
誠実さ、教職に対する意欲を感じました。  
困難な場面にも忍耐強く対応していく責任感が感じられました。  
一人ひとりの生徒を大切に作る姿勢が伝わってきました。  
周囲の人たちからたくさんのことを積極的に吸収する姿勢が感じられました。  
高知県に対する好意的な気持ちが感じられます。

### 〈工夫・改善が欲しい内容〉

生徒や保護者、その他第三者の視点で物事を見ることも必要です。  
一般的な教育論と個人の具体的な実践の両方の話ができるとうい。  
志願した動機や、教職に対する積極性を伝えることが大切です。  
自分の考えは、自信を持ってはっきり述べるようにする。  
発言は分かりやすく、簡潔な表現にすると好印象です。  
聞き取りにくい発声は授業するとき、子どもたちも困ります。  
時と場合にもよりますが、前向きな姿勢が先生には必要です。

## 高知県の教員を目指される方へのアドバイス

### はじめて受審される方

- ストレートでの採用は厳しい状況ですが、そんな中でも毎年数人採用される人がいます。
- 学生時代又は社会人時代に具体的な目標を定めたりして、一生懸命に実践し、取り組んできた人が評価されています。
- 学生であれば潜在能力が高く周囲の助言を受けながら大きく伸びていくようなタイプを、社会人であれば専門性や実績を生かせるタイプを求めています。

### 受審歴・臨時教員の経験のある方

- これまでの受審の状況や学校での取組を客観的に振り返り、それに基づく課題設定を行いながら、自分を高めていけるような人を求めています。
- 受審歴のある方は前回からどのように成長したのか、臨時教員歴のある方は、学校での勤務状況なども参考にします。
- 積極的にチャレンジする皆さんのこれからの取組を期待しています。

## 高知県の採用審査の参考となる資料等

- 学習指導要領及び学習指導要領解説
- 過去の高知県の教員採用審査問題〈教育政策課〉  
(平成19～21年度については教育政策課ホームページに掲示、平成17・18は県庁情報公開コーナーに設置)
- 「学ぶ力を育み 心に寄りそう 緊急プラン」〈教育政策課〉  
(平成20年7月4日 高知県教育委員会)
- 「高知県学校改善支援プラン～確かな学力の育成をめざせして～」〈小中学校課〉  
(平成20年2月 高知県学校改善支援プラン)
- 「平成20年度全国学力・学習状況調査結果資料」〈小中学校課〉  
(平成20年8月 高知県教育委員会事務局)
- 「平成20年度全国学力・学習状況調査結果の概要  
～自ら学ぶ力を育むために～」〈小中学校課〉  
(平成20年10月高知県教育委員会)
- 「高知県人権教育推進プラン 人権教育のすすめ」〈人権教育課〉  
(改訂版 平成19年3月 高知県教育委員会)
- 「いのちを守り育むために  
～虐待から子どもを守るための教職員用マニュアル～」〈人権教育課〉  
(平成20年8月高知県教育委員会)
- 「教職員のための児童虐待対応ガイドライン」〈人権教育課〉  
(平成20年8月 高知県教育委員会)
- 「土佐の防災学習プログラム 南海地震に備えよう」〈スポーツ健康教育課〉  
(平成18年3月 高知県教育委員会)

など

高知県教育委員会のホームページ (<http://www.kochinet.ed.jp/>) から各課のホームページをご覧ください。

それぞれの資料は〈 〉内に示した各課のホームページに掲示しています。